

取扱説明書  
GL02P



## EMOBILE GL02P User Guide

### ©イー・アクセス株式会社

- 本書内で使用されている表示画面、イラストなどは説明用に作成されたものです。
- 本書内では、GL02Pのことを「本製品」、無線LANによる接続に対応した機器（ゲーム機、パソコンなど）を「無線LAN端末」と表記しています。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関して、一部でも無断転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お問い合わせ先(139ページ)にご連絡ください。

Microsoft® Windows®, Windows® 8、Windows® 7、Windows Vista®およびWindows® XPは、米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

Mac、Macintoshは、米国およびその他の国々で登録されたApple Incの商標です。

AdobeおよびAdobe Readerは、米国Adobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®, Wi-Fi Certified®, WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

PlayStation、PS3、PSP、PSPVITAは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。また、PSVITAは同社の商標です。

Wii、ニンテンドー3DS LL、ニンテンドー3DS、ニンテンドーDS、ニンテンドーDS Lite、ニンテンドーDSi、

ニンテンドーDSi LLおよびニンテンドーWi-Fiコネクションは、任天堂の商標または登録商標です。

iPod touch、iPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Incの商標または登録商標です。

Pocket WiFiの商標およびロゴは、イー・アクセス株式会社の商標または登録商標です。

その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客さまが不要となっておりますの電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず下記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。



**モバイル・リサイクル・ネットワーク**  
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。



**Li-ion00**

# はじめに

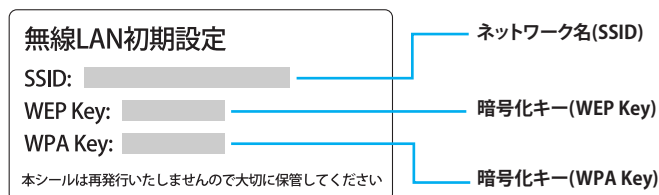
この度は、EMOBILE GL02P (以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。不明な点がございましたらお問い合わせ先(139ページ)にご連絡ください。

## 工場出荷時設定について

本製品と無線LAN端末を接続するときに、以下の情報が必要となります。

工場出荷時は、機器固有のネットワーク名(SSID)と暗号化キーが設定されています。本製品に同梱の「無線LAN初期設定シール」に、工場出荷時に設定されているネットワーク名(SSID)、暗号化キー5桁(WEP64bit)/8桁(WPA)が記載されていますのでご確認ください。

### 無線LAN初期設定シール



※一部のゲーム機などでは、WPA/WPA2方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、89ページ「無線LANセキュリティ設定」を参照してください。

# はじめに

## 本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻すには(リセット)

本製品の電源を入れた状態で、電池カバーを取り外し、RESETボタンを約2秒間押し、本製品の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。**EM** ロゴの表示に続いて「WELCOME」が表示され、本製品が再起動されることを確認してください。



### 注意

- ・リセットを行うとご購入後に設定した内容はすべて削除されます。十分ご注意ください。また、万一の場合に備えて、あらかじめ設定内容をパソコンに保存しておくことも可能です。詳しくは、105ページ「バックアップ&リストア」を参照してください。
- ・RESETボタンは、つまようじのような、先のとがったものを使用して押してください。強く押しすぎると、破損の原因になることがあります。また、ペンや鉛筆などを使うと、インクなどが張り付き汚損する場合があります。
- ・RESET中は電池パックを取り外さないでください。

# はじめに

## 本製品の使いかた

本製品は、3G/LTE回線、自宅や会社などの無線LANルーターを経由して、パソコンやゲーム機などの無線LAN端末またはUSBケーブルで接続したパソコンをインターネットに接続できます。

※接続環境などにより、通信速度が最大値に達しない場合があります。

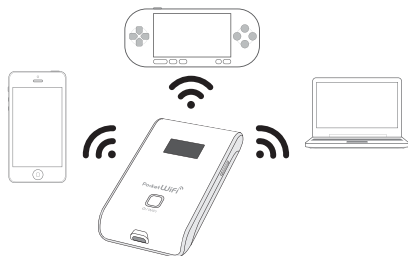
### 無線LANで接続する

本製品とパソコンやゲーム機などの無線LAN端末を接続し、データ通信を行います。

本製品は無線LAN端末を同時に10台まで接続することができます。

- 無線LANで接続する→38ページ

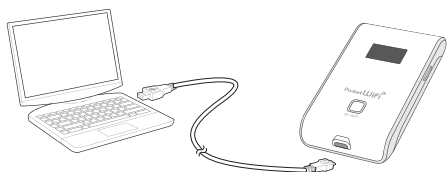
- 各種機能を設定する→66ページ



### USBモデムモードで接続する

本製品とパソコンをUSBケーブルで接続し、データ通信を行います。

- USBモデムモードで接続する → 59ページ



#### 注意

- ・無線LAN接続とUSB接続を同時にすることはできません。
- ・USBケーブルで接続をしたい場合は設定変更とGL02P コネクションマネージャのインストールが必要です。詳しくは、59ページ「USBモデムモードで接続する」を参照してください。

# はじめに

## 動作環境

本製品の動作環境は以下のとおりです。

### OS:

Windows XP Home Edition Service Pack 3以降  
Windows XP Professional Service Pack 3以降  
Windows Vista Home Basic(32ビットおよび64ビット)  
Windows Vista Home Premium(32ビットおよび64ビット)  
Windows Vista Business(32ビットおよび64ビット)  
Windows Vista Ultimate(32ビットおよび64ビット)  
Windows 7 Starter(32ビット)  
Windows 7 Home Premium(32ビットおよび64ビット)  
Windows 7 Professional(32ビットおよび64ビット)  
Windows 7 Ultimate(32ビットおよび64ビット)  
Windows 8 (32ビットおよび64ビット)  
Windows 8 Pro (32ビットおよび64ビット)  
Mac OS X 10.5  
Mac OS X 10.6(32ビットおよび64ビット)  
Mac OS X 10.7(32ビットおよび64ビット)  
対応OSはすべて日本語版です。

### メモリ:

Windows XP: 推奨512MB以上(256MB以上必要)  
Windows Vista: 推奨1GB以上(512MB以上必要)  
Windows 7: 1GB以上必要(32ビット)、2GB以上必要(64ビット)  
Windows 8: 1GB以上必要(32ビット)、2GB以上必要(64ビット)  
Mac OS X: 推奨512MB以上(256MB以上必要)

### ハードディスク:

推奨100MB以上(50MB以上の空き容量が必要)

### 画面解像度:

推奨1024×768以上

### 対応ブラウザ:

Windows: Microsoft Internet Explorer 6、7、8、9、10  
Mac OS X: Safari 3、4、5

上記の環境以外では動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体や接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客さまのご利用環境によっては正常に動作しない場合があります。

### お願い

・パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各パソコンのマニュアルなどをお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。

# はじめに

## ご利用いただくにあたって

- 本製品はイー・モバイルの提供するサービスエリアおよび国際ローミングのサービスエリアにおいてご利用になれます。  
This product can be used in the coverage that EMOBILE offers and the coverage of the international roaming.
- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本製品は電波法に定める無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- EM chip を取り付けていない状態では一部使用できない機能があります。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- **ご使用になる前に、必ず「安全上のご注意」をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。**

# はじめに

## 無線LANに関するご注意

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
- テレビ、ラジオなどに近いと、受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

### 周波数帯域について

無線LAN搭載機器が使用している周波数帯は、本製品の電池カバーを取り外した中に記載されています。

2.4 DS4/OF4

2.4	周波数2400MHz帯を使用する無線装置であることを示します。
DS/OF	変調方式がDSSS、OFDMであることを示します。
4	想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■■■	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 無線LANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

### 2.4GHz機器使用上の注意事項

無線LAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）を行うか、使用場所を変更してください。



# はじめに

## 無線LAN利用時のセキュリティに関するご注意

無線LANは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンなどの無線LAN端末と無線LANアクセスポイント間で情報の交換を行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能になる利点があります。

その反面、電波が届く範囲内であれば、障害物(壁など)を超えてすべての場所に到達するので、セキュリティに関する設定を行っていない場合は、通信内容を盗み見られたり、不正侵入などのセキュリティ上の問題が発生する可能性があります。

本製品は、ご購入時の状態でセキュリティ機能が動作するように設定されています。ただし、安全性を考慮して、ご購入時のセキュリティ設定を変更して使用されることをお勧めします。セキュリティ機能の設定方法については、取扱説明書およびお使いの無線LAN端末の取扱説明書を参照してください。

- 無線LANの仕様上、特殊な方法によってセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上でお使いください。
- 本製品に関するセキュリティ設定などについて、ご不明な点がある場合には、お問い合わせ先(139ページ)にご相談ください。
- 無線LAN機能をご利用の際に、上記のようなセキュリティに関して発生するいかなる問題についても、当社は補償いたしかねますのでご了承ください。

## 本書の使いかた

章番号


### 2. 無線LANで接続する

#### PSPを接続する

画面表示や手順は、PSP-2000/PSP-3000で、無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA」の場合を例にして説明しています。PSP-1000※を使用した場合や、その他の暗号化方式を設定している場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、PSPの取扱説明書を参照してください。  
※PSP-1000のシステムソフトウェアver1.52以前では、一部手順が異なります。

2

1 本製品の電源ボタン(  /WiFi)を約5秒間押し続けて電源を入れます。

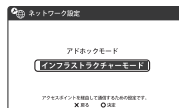
無線LAN機能がオンになると  が表示されます。

2 PSPのワイヤレスLANスイッチをオンにします。

3 PSPのホームメニュー画面から、「設定」→「ネットワーク設定」の順に選択し、○ボタンを押します。



4 「インフラストラクチャーモード」を選択し、○ボタンを押します。



操作手順




ページ番号

42








# 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

## 表示記号の説明

 <b>危険</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。











## 図記号の説明

 <b>禁止</b>	本製品の取り扱いにおける禁止事項(してはいけないこと)を示しています。
 <b>分解禁止</b>	本製品を分解すると感電などの傷害を負うおそれがあるので、分解してはいけないことを示しています。
 <b>濡れ手禁止</b>	本製品を濡れた手で扱うと感電するおそれがあるので、濡れた手で触ってはいけないことを示しています。
 <b>水濡れ禁止</b>	本製品を水に濡らすなどして使用すると漏電による感電や発火のおそれがあるので、水に濡らしてはいけないことを示しています。
 <b>風呂、シャワー室での使用禁止</b>	本製品を風呂、シャワー室で使用すると漏電による感電や発火のおそれがあるので、風呂、シャワー室で使用してはいけないことを示しています。
 <b>指示</b>	本製品の取り扱いにおける指示事項(必ず実行していただくこと)を示しています。
 <b>電源プラグを必ずコンセントから抜く</b>	ACアダプタまたはパソコンの電源プラグを必ずコンセントから抜いていただくことを示しています。





具体的な内容は図記号とともに文章で示します。

# 安全上のご注意

## GL02P本体に関する注意事項





 危険	
	<b>分解、改造をしないでください。</b> 発熱、発火、感電や故障の原因となります。なお本製品の改造は電波法違反になります。
	<b>強い日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。</b> 発熱、発火、変形、変色や故障の原因となります。 また本製品が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。
	<b>濡れた手で触らないでください。</b> 感電や故障の原因となります。
	<b>浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください</b> 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	<b>コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。</b> 液体がこぼれて濡れると、感電、発熱、故障の原因となります。
	<b>水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。</b> 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
	<b>強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。</b> 発熱、発火、破裂、故障、本人や他の人のけがの原因となります。
	<b>本体に無理な力を加えないでください。</b> 発熱、発火、破裂、故障の原因となります。
	<b>ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。</b> 爆発や火災の原因となります。

# 安全上のご注意








 <b>警告</b>	
	<b>電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れしないでください。</b> 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	<b>すき間から異物を入れしないでください。</b> 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	<b>煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、パソコンとUSBケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、本製品の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先(139ページ)にご連絡ください。</b> そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。
	<b>内部に水などが入った場合には、すぐに本製品をACアダプタまたはパソコンから取り外し、本製品の電源を切ってください。</b> そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。すぐに本製品をACアダプタまたはパソコンから取り外し、本製品の電源を切ってから電池パックを外して、お問い合わせ先(139ページ)などにご連絡ください。
	<b>落雷のおそれがあるときは、本製品およびパソコン、無線LAN 端末の電源を切り、ACアダプタおよびパソコンの電源プラグを抜いてください。</b> 落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。
	<b>長時間使用しない場合、本製品をACアダプタまたはパソコンから取り外してください。</b> 感電、火災、故障の原因となります。
	<b>必ず指定の機器をご使用ください。</b> 指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。
	<b>車両の運転中に本製品を使用しないでください。</b> 交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。
	<b>航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。</b> 電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。
	<b>高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。</b> 電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。 ※ 影響を受けるおそれがある機器の例： ・心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドア など。 ・心臓ペースメーカーやその他医用電気機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売業者にご相談ください。

# 安全上のご注意

以下に記載する4項目は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」(電波環境協議会/平成9年4月)に準拠しています。

	<p><b>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。</b> 電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。</p>
	<p><b>満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品およびパソコン、無線LAN 端末の電源を切り、本製品の使用を控えてください。</b> 電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。</p>
	<p><b>医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。</b> ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。 ・病棟内では、本製品およびパソコン、無線LAN端末の電源を切り、本製品を使用しないでください。 ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本製品およびパソコン、無線LAN端末の電源を切り、本製品を使用しないでください。 ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。</p>
	<p><b>自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。</b> 電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。</p>

## 注意

	<p><b>小児や乳幼児の手の届かない場所に保管してください。</b> EM chipを間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。</p>
	<p><b>小児が使用するときは、取り扱いに問題がないことを保護者が確認してください。</b> EM chipを飲み込む、感電するなどの事故やけがの原因となります。</p>
	<p><b>自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。</b> 自動車が安全に走行できなくなるおそれがあります。</p>
	<p><b>ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。</b> 落下して、けがや故障の原因となります。</p>
	<p><b>本製品、EM chipに無理な力を加えないでください。</b> 故障、けがの原因となります。</p>
	<p><b>人が密集している場所では、使用しないでください。</b> けがをするおそれがあります。</p>
	<p><b>皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用を止め、医師の診断を受けてください。</b> お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。</p>

# 安全上のご注意

本製品に使用された材料や表面処理は以下に記載したとおりです。















	使用箇所	使用材料	表面処理
本体	表面	PC樹脂	UV塗装処理
	ディスプレイパネル	PMMA樹脂	-
	電源ボタン	PC樹脂 ABS樹脂 TPC樹脂	UV塗装処理
	WPSボタン	PC樹脂 TPC樹脂	UV塗装処理
	EM chipスロット	LCP樹脂 ステンレス	-
	電池パック接続端子	銅合金	金メッキ
ACアダプタ	本体	PPHOX	-
	端子部	真鍮	ニッケルメッキ
USBケーブル	本体	PVC	-
	USB接続端子	真鍮	4pin:金錫メッキ/5pin:金メッキ

## 電池パックに関する注意事項










電池パック(リチウムイオン電池パック)について、次の事をお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因となります。









危険

-  本製品で使用できる電池パックは(PBD02LPZ10)です。これ以外の電池パックは使用しないでください。
-  装着するとき、電池パックの向きが決められています。本製品にうまく装着できないときは、無理をしないでください。  
電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
-  充電には、指定のACアダプタ(PCD02LPZ10)以外のものを使用しないでください。また、電池パックは指定機器以外の機器には使用しないでください。
-  直射日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所に放置しないでください。
-  針を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
-  外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
-  分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
-  水や火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
-  端子をショートさせないでください。金属小物(鍵、アクセサリ、ネックレスなど)と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
-  電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。
-  ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では電源を切ってください。
-  電池パックからもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。失明のおそれがあります。
-  ベットが電池パックに噛み付かないようご注意ください。  
電池パックの液漏、発熱、破裂、発火などの原因となります。
-  水や飲料水、ベットの尿などで濡らさないでください。  
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

# 安全上のご注意

 警告	
	電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れしないでください。
	濡れた手で触らないでください。
	コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
	水や海水につけたり、雨滴などで濡らしたりしないでください。万一、濡れた場合には、直ちに使用をやめてください。
	電池パックから液がもれたり、異臭がしたりするときには、直ちに使用をやめて火気より遠ざけてください。
	液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
	充電時に、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。
	煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、パソコンとUSBケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、本体の電源を切り、電池パックを取り外し、お問い合わせ先(139ページ)にご連絡ください。 そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。

 注意	
	充電は必ず-5~50℃の範囲で行ってください。
	電池パック内部の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。
	電池パックを本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱、その他異常と思われたときは、電池パックを本体に装着しないで、お問い合わせ先(139ページ)にご連絡ください。
	小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。 感電やけがの原因となります。
	乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が本製品から電池パックを取り出さないように注意してください。 間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。












# 安全上のご注意

## ACアダプタに関する注意事項





 危険	
	改造や分解・修理はしないでください。

 警告	
	本体に接続するACアダプタは、必ず同梱のPCD02LPZ10を使用してください。 他のACアダプタは使用しないでください。
	ACアダプタはコンセントに直接接続してください。 タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。
	使用されないときには、安全のため、ACアダプタをコンセントおよび本体から取り外しておいてください。
	煙が出ている、変な臭いがあるなどの異常な状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを取り外し、お問い合わせ先(139ページ)にご連絡ください。 そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。
	表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。 それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。 ACアダプタ: 100~240V
	濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。
	水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
	コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。 倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。
	ACアダプタに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
	ACアダプタのコネクタを針金などの導電性物質でショートさせないでください。 感電、故障、発火の原因となります。
	落雷のおそれがあるときは、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。

# 安全上のご注意

 注意	
	ACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らないでください。
	周囲温度 0～40℃、湿度10～90%の範囲でご使用ください。
	直射日光の当たる場所で使用および放置しないでください。
	ほこりの多い場所に置かないでください。
	落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。
	重いものを載せないでください。
	電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。
	布などでくるましないでください。

## USBケーブルに関する注意事項

 危険	
	分解、改造しないでください。 火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
	火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。 機器の変形、故障、発熱、発火の原因となります。
	水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

# 安全上のご注意



## 警告

	コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。
	USBケーブルは、対応機種以外にご使用にならないでください。対応機種以外のものを接続した場合、破損の原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れしないでください。故障や火災の原因となります。
	強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。故障や火災の原因となります。
	端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れられないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となります。
	雷が鳴り出したら、USBケーブルには触れないでください。落雷の際、感電の原因となります。



## 注意

	コードの根元部分を無理に曲げないでください。
	小児が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。けがなどの原因となります。
	乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。故障の原因となります。
	USBケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずコネクタを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

# 安全上のご注意

## EM chip(USIMカード)に関する注意事項



### 警告



EM chipを本製品へ取り付けるときや取り外すときに注意してください。  
必要以上の力を掛けると、手や指を傷つけたり、EM chipの破損の原因となります。



### 注意



小児や乳幼児の手の届かない場所に保管してください。  
EM chipを間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。



落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重い物の下敷きにしないでください。  
変形するなど、故障の原因となります。



他社製品のICカードリーダーなどにEM chipを取り付けしないでください。  
故障の原因となります。故障した場合、お客さまの責任となり、当社では一切の責任を負いません。



EM chipの金属部を傷つけたり、ショートさせたりしないでください。  
データの消失や故障の原因となります。



EM chipは本来の用途以外の方法で使用しないでください。  
データの消失や故障の原因となります。



電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。  
発熱、発火や故障の原因となります。



火のそばやストーブのそばなど高温の場所で使用したり放置しないでください。  
変形や溶解、データ消失などの故障の原因となります。



水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。  
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



# 取扱上のご注意

本表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できない、もしくは機能停止を招く内容を示していますので、必ずお守りください。


 <b>注意&lt;GL02P本体に関する注意事項&gt;</b>	
	<b>水濡れさせないでください。</b> 本製品は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
	<b>エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。</b> 温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
	<b>濡った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。</b> 衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
	<b>次のような極端な温度環境での使用は避けてください。</b> ・直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。 ・冷蔵倉庫など、特に温度が下がる場所。
	<b>テレビ、ラジオ、携帯電話など電磁波が発生する物の近くで使用しないでください。</b> お互いに影響を受ける場合がありますので、なるべく離れて使用してください。
	<b>落としたり強い衝撃を与えたり曲げたりしないでください。</b> 落としたり、かばんの中で重い物の下敷きにするなど、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。
	<b>スポンやスカートの後ろポケットなどに本製品を入れたまま、椅子などに座らないでください。またかばんの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。</b> 破損や故障の原因となります。
	<b>使用中に、強い磁石を近づけないでください。</b> 故障の原因となります。
	<b>ほこりや湿気が多い場所に保管しないでください。</b> 故障の原因となります。
	<b>使用しないときは、端子が汚れないように保管してください。</b> ほこりなどにより本製品の端子が汚れると、パソコンと接続できないことがあります。
	<b>汚れたり水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。</b> アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、科学雑巾、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質することがあります。
	<b>使用中に本製品やACアダプタが温かくなることがありますが手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。</b> そのままお使いください。ただし長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。
	<b>本製品にACアダプタまたはUSBケーブルを取り付けるときは、正しい方向に無理なく取り付けてください。</b> 逆方向に取り付けたり、違和感がある状態で取り付けると、破損や故障の原因となります。
	<b>本製品とパソコンをUSBケーブルで接続している場合、パソコンの電池残量が不足していないことを確認して使用してください。</b> 電池が不足していると動作が不安定になります。充電するなどして使用してください。
	<b>クレジットカードなどと本製品を近づけないでください。</b> クレジットカードなどの磁気カードのデータが消失するおそれがあります。
	<b>EM chipは当社指定のものを使用してください。</b> 指定以外のものを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。
	<b>EM chipの金属端子部分は汚さないでください。故障の原因となります。汚れたときは柔らかい布などで拭き取ってください。</b>
	<b>お客さまご自身で本製品に登録された内容は、バックアップを取るなどして保存してくださいようお願いいたします。</b> 万が一、登録された内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

# 取扱上のご注意






## 注意<microUSB端子に関する注意事項>

-  microUSBコネクタなどにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。故障や記録内容の消失の原因となります。端子はときどき乾いた綿棒で清掃してください。
-  ケーブルは強く引っ張らないでください。指定された以外の方法でケーブルを取り付けたり、取り外したりしないでください。



## 注意<ディスプレイに関する注意事項>

-  ディスプレイは精密度の非常に高い技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものがあります。これらはディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。


## 注意<電池パックに関する注意事項>

-  電池パックは消耗品です。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
-  初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。充電が不足していると動作が不安定になります。
-  電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
-  電池パックの使用条件により、寿命が近づくとつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。
-  直射日光を避け、風通しの良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態で本製品から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

## 注意<ACアダプタに関する注意事項>

-  充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用いただけます。
-  強い衝撃を与えないでください。また、コネクタ、端子、プラグを変形させないでください。

## 注意<ストラップに関する注意事項>

-  ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されている市販のストラップを取り付けることができます。ストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ストラップを取り付けた状態でストラップを持って振り回したり、ストラップを強く引っ張ったりするなどストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

# 取扱上のご注意

## お願い

当社では動作環境を満たすパソコンおよびゲーム機などの無線LAN 端末に対して、正常に動作することを確認しています。

しかし周辺機器の増設やインストールされているアプリケーションの固有の設定などの影響により、本製品が正常に動作しない可能性があります。お客さまの環境で必ず正常動作することを保証するものではありません。

## 免責事項

- ・火災および地震などの災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

# 目次

はじめに.....	2
工場出荷時設定について.....	2
本製品の使いかた.....	4
動作環境(対応OS).....	5
ご利用いただくにあたって.....	6
無線LANに関するご注意.....	7
無線LAN利用時のセキュリティに関するご注意.....	8
本書の使いかた.....	9
<b>安全上のご注意.....</b>	<b>10</b>
<b>取扱上のご注意.....</b>	<b>20</b>
<b>目次.....</b>	<b>23</b>
<b>1. ご利用になる前に.....</b>	<b>24</b>
梱包品を確認してください.....	25
各部の名称と機能.....	26
EM chip (USIMカード)を準備してください.....	31
電池パックの充電について.....	35
電源を入れる/切る.....	37
<b>2. 無線LANで接続する.....</b>	<b>38</b>
無線LAN機能について.....	39
無線LANで接続する.....	40
<b>3. USBモデムモードで接続する.....</b>	<b>59</b>
GL02Pコネクションマネージャをダウンロードする.....	60
GL02Pコネクションマネージャをインストールする.....	60
GL02Pコネクションマネージャをアンインストールする.....	62
PC接続設定をUSBモデムモードに設定する.....	64
USBケーブルでパソコンに接続する.....	64
<b>4. 各種機能を設定する.....</b>	<b>66</b>
GL02P設定ツールについて.....	67
現在の接続状態を確認する(接続).....	70
インターネットや無線LANの情報を確認する(基本情報).....	71
かんたん設定.....	72
各種機能の詳細設定をする(設定).....	78
サポート情報を確認する(サポート).....	113
モバイル機器用設定ツールについて.....	114
<b>5. 故障と思われる前に.....</b>	<b>125</b>
困ったときは.....	126
<b>6. 付録.....</b>	<b>130</b>
主な仕様.....	132
GL02P設定ツール設定リスト.....	132
用語集.....	136
保証とアフターサービス.....	138
お問い合わせ先.....	139



# 1. ご利用になる前に

梱包品を確認してください.....	25
<b>各部の名称と機能</b> .....	<b>26</b>
本体の名称と機能 .....	26
ディスプレイの表示 .....	28
<b>EM chip (USIMカード)を準備してください.....</b>	<b>31</b>
EM chipを取り付ける .....	31
EM chipを取り外す .....	34
<b>電池パックの充電について.....</b>	<b>35</b>
電池パックを取り付ける .....	35
電池パックを充電する.....	35
電池パック充電時のご注意 .....	36
<b>電源を入れる/切る .....</b>	<b>37</b>

# 1. ご利用になる前に

## 梱包品を確認してください

お買い上げいただいた商品には次のものが入っています。お使いになる前に確認してください。万一、不足していた場合には、お問い合わせ先(139ページ)にご連絡ください。

	
GL02P 本体	電池パック(PBD02LPZ10)
	
ACアダプタ(PCD02LPZ10)	microUSB ケーブル (20cm/100cm 各1本)
	
かんたんセットアップマニュアル (別冊:基本編 ポータブルデバイス編各1部)	ご利用いただくにあたって
	
保証書(本体、ACアダプタ各1部)	無線LAN初期設定シール

### お願い

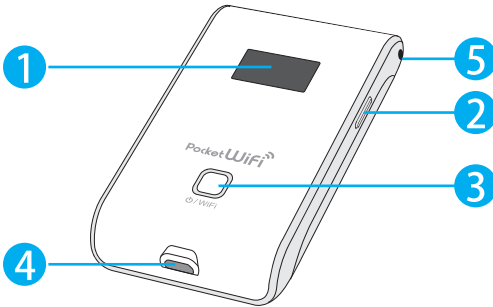
・保証書を含め付属品は大切に保管してください。

# 1. ご利用になる前に

## 各部の名称と機能

1

### 本体の名称と機能



#### ① ディスプレイ

本製品の状態が表示されます。詳しくは、28ページ「ディスプレイの表示」を参照してください。

#### ② WPSボタン

約10秒間押しすと、WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能が起動します。

WPS機能を搭載した無線LAN端末をお使いの場合は、無線LAN接続の設定を簡単に行うことができます。詳しくは、49ページ「WPS対応の無線LAN端末を接続する」を参照してください。

#### ③ 電源ボタン( /WiFi)

・約5秒間押しして、本体の電源をオン/オフします。

・電源を入れると、無線LAN機能がオンになります。また、自動的にインターネットに接続します。

・約1秒間押しして、無線LAN機能をオン/オフします。

海外で電源を入れた場合は、無線LAN機能がオフの状態です。その場合は電源ボタンを約1秒押しして無線LAN機能をオンにしてください。

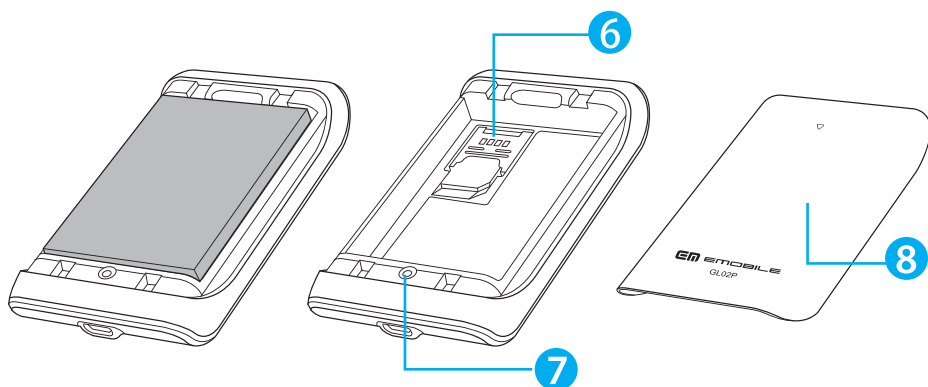
#### ④ microUSBコネクタ

USBケーブルを接続します。

#### ⑤ ストラップホール

ハンドストラップ、アクセサリなどを取り付けます。

# 1. ご利用になる前に



## ⑥ EM chipスロット

EM chipを取り付けます。

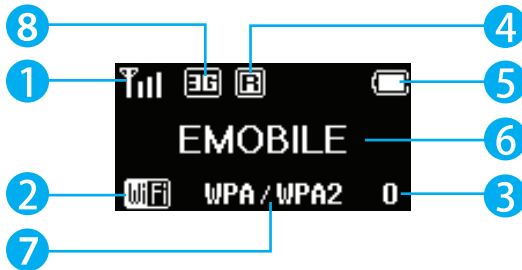
## ⑦ RESETボタン

本製品をお買い上げ時の状態に戻す(リセット)場合に操作します。詳しくは、3ページ「本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻すには(リセット)」を参照してください。

## ⑧ 電池カバー

# 1. ご利用になる前に

## ディスプレイの表示



- ① 受信レベル表示  
受信レベルを表示します。

アイコン	説明
	圏外
	レベル0
	レベル1
	レベル2
	レベル3

- ② WiFi状態表示

- 表示あり:無線LANが有効
- 表示なし:無線LANが無効

- ③ 無線LAN接続数表示

無線LANに接続されている機器の台数が表示されます。

- ④ ローミング状態表示

ローミングサービスを利用して接続しているときに表示されます。ローミングサービス利用時は、ローミング料金が発生することがあります。

- ⑤ 電池残量表示

電池残量情報を表示します。

- -> 電池残量「多い」⇒「少ない」
- -> -> -> :充電中

# 1. ご利用になる前に

## ⑥ アニメーション/テキスト表示部

発信中や充電中、WPSを実行中に、状態や結果を表すアニメーションやテキストが表示されます。詳しくは、30ページの表を参照してください。



## ⑦ 暗号化方式表示

現在設定されている無線LANの暗号化方式が表示されます。

表示	暗号化方式
None	Open System
WEP	WEP (64/128bit)
WPA	WPA (TKIP/AES)
WPA2	WPA2 (TKIP/AES)
WPA/WPA2	WPA/WPA2 (TKIP+AES)

## ⑧ 3G/LTE

接続中のモバイルネットワークの種類を表示します。

アイコン	説明
	3G
	LTE



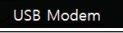
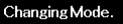
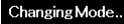
### 注意

- ・本製品の操作が40秒以上なかった場合、本製品のディスプレイは自動的にオフになります。ディスプレイを再点灯するには、任意のボタンを押してください。

# 1. ご利用になる前に

## ■アニメーション/テキスト表示について

本製品では、通信状態、異常状態などの情報を、アニメーションまたはテキストによってお知らせします。

アニメーション/テキスト表示	通信状態/異常状態
 	充電中(電源が入っていない状態)
	充電完了
   	WPS実行中
	WPS成功
	WPS失敗
   	発信中(ネットワークに接続しようとしている状態)
	ネットワーク接続失敗
	電池が正しく装着されていません。
	お買い上げ時の状態に戻します。
   	Wi-Fiオン
   	Wi-Fiオフ
	WPS情報
	ソフトウェアアップデート中
	ソフトウェアアップデート失敗
	USBモデムモード
 	USB接続解除中
	現在接続しているネットワーク名
	現在の無線LANの暗号化方式
	EM chipが装着されていません。
	PINコードの入力待ちの状態です。 (GL02P設定ツール画面で、PINコードを入力する必要があります。)
	PUKコードの入力待ちの状態です。 (GL02P設定ツール画面で、PUKコードの入力が必要です。)
	EM chipが完全ロック状態です。 不適切なEM chipが装着されています。
	電池残量がほとんど残っていません。 (直ちに充電してください。)

# 1. ご利用になる前に

## EM chip(USIMカード)を準備してください

本製品を利用されるお客さまに貸与されているICカードのことをEM chip(エムチップ)といい、お客さまの電話番号などの情報が記録されています。本製品をお使いになる前に、EM chipを本体に取り付けてください。EM chipを取り付けていない本製品は、無線LAN端末を接続してもデータ通信を行うことができません。EM chipの台紙に記載されている取扱説明も参照してください。

### 注意

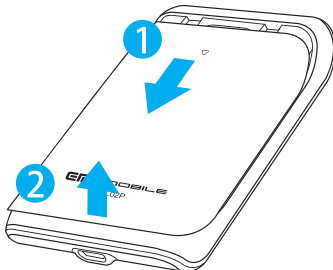
・使用中にEM chipを取り外すと本製品が正常に動作しなくなりますので、本製品に電源が入っている状態では取り外さないでください。  
万一、EM chipを取り外してしまった場合には、次の操作を行ってください。

1. 本製品の電源を切ります。
  - ・USBケーブルが接続されている場合は取り外してください。
2. 電池カバーを取り外します。
3. 電池パックを取り外します。
4. EM chipを取り付けます。
5. 電池パックを取り付けます。
6. 電池カバーを取り付けます。
7. 本製品の電源を入れます。

## EM chipを取り付ける

**1** 本製品の電源が入っているときは、電源ボタン(  / WiFi )を約5秒間押して電源を切ります。

**2** 電池カバーの▽の両わきを押えながら**1**の方向へスライドさせ、**2**の方向に電池カバーを取り外してください。

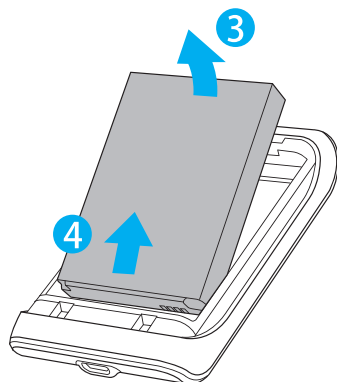




# 1. ご利用になる前に

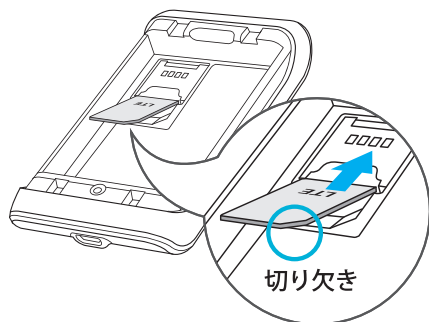
1

- 3** 電池パックが取り付けられている場合は、電池パックを**3**の方向に持ち上げて取り外します(**4**)。



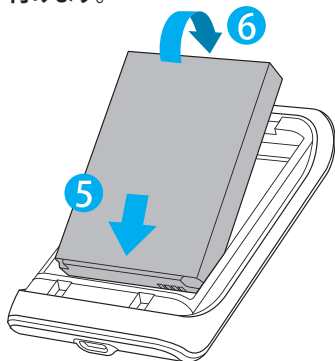
- 4** EM chipのIC部分を下にして、矢印の方向にEM chipを奥まで差し込みます。

- EM chipスロットに取り付けるときや取り外すときには注意してください。必要以上の力を加えると、手や指を傷つけたり、EM chipの破損の原因となることがあります。
- EM chipが完全に取り付けられていることを確認してください。

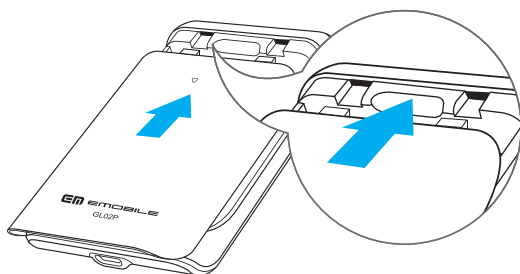


# 1. ご利用になる前に

- 5 電池パックのS/N欄を下にして、5の方向へ押し付けながら、6の方向へ押し込んで取り付けます。




- 6 本体のストラップホールのある方を上にして、電池カバーのつめを本体側の穴にあわせて、矢印の方向にスライドさせて取り付けます。

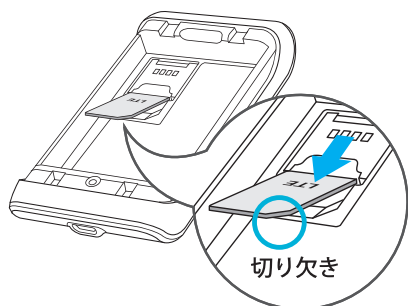


# 1. ご利用になる前に

## EM chipを取り外す

1

- 1 本製品の電源が入っているときは、電源ボタン(  / WiFi )を約5秒間押して電源を切ります。
- 2 電池カバーと電池パックを取り外します。  
詳しくは31ページ「EM chipを取り付ける」を参照してください。
- 3 EM chipを矢印の方向に引き出してEM chipスロットから取り外します。



- 4 電池カバーと電池パックを取り付けます。  
詳しくは31ページ「EM chipを取り付ける」を参照してください。

### 注意

・取り外したEM chipを紛失しないように注意してください。

# 1. ご利用になる前に

## 電池パックの充電について

### 電池パックを取り付ける

本製品をご使用になる前に、電池パックを取り付けてください。電池パックの取り付けかた/取り外しかたについては、31ページ「EM chip(USIMカード)を準備してください」を参照してください。

#### 注意

- ・電池パックを取り外すときは、必ず本製品の電源を切ってください。電源が入った状態で電池パックを取り外すと、本製品が正常に動作しなくなったり、その他の異常が発生する恐れがあります。

### 電池パックを充電する

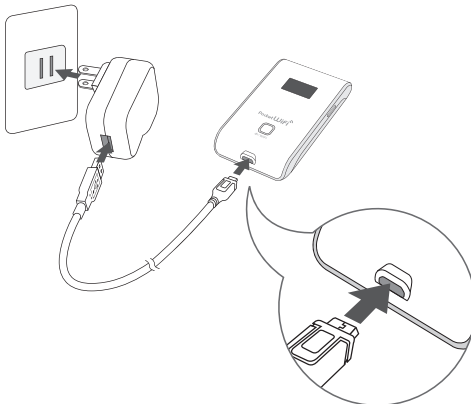
お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。はじめてお使いになるときは、必ず充電してからお使いください。

#### 注意

- ・充電の際は、必ず同梱のACアダプタとmicroUSBケーブルをご利用ください。

### ■ ACアダプタで充電する

- 1 本製品のUSBコネクタにUSBケーブルのmicroUSBコネクタを接続します。
- 2 USBケーブルのもう一方のコネクタをACアダプタに接続し、ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントに差し込みます。



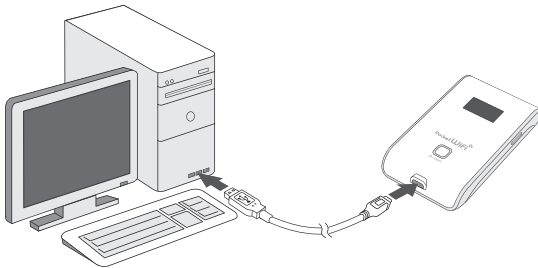
# 1. ご利用になる前に

## ■ パソコンに接続して充電する

1

1 本製品のUSBコネクタにUSBケーブルのmicroUSBコネクタを接続します。

2 USBケーブルのもう一方のコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。



## ■ 電池残量表示について

電池パックの電池残量は、ディスプレイ上部の電池残量表示で確認することができます。28ページ「ディスプレイの表示」を参照してください。

## 電池パック充電時のご注意

電池パックを充電するときは、次の内容にご注意ください。

- 電池パック単体では充電できません。必ず本製品に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 必ず同梱のACアダプタを使用するか、同梱のUSBケーブルでパソコンに接続して充電してください。
- 使用していない状態でも電池パックは放電します。長期間使用しなかった場合は、充電してから使用してください。
- 充電時間/使用時間の目安(メーカー調べ)

充電時間※1	連続待機時間※2	連続通信時間※2
約4時間 (ACアダプタ) 約8時間 (USB接続)	約350時間	約9時間 (LTE接続時) 約9時間 (WCDMA接続時)

※ 1: 充電完了までの時間は、周囲の温度や電池パックの使用期間などによって異なります。

※ 2: 連続待機時間・連続通信時間は、使用環境や電波状況などにより変動します。

- 電池パックの利用可能時間は、充電/放電の繰り返しにより徐々に短くなります。正しい手順で電池パックを充電しても利用可能時間が短い場合は、指定の新しい電池パックに交換してください。

# 1. ご利用になる前に

## 電源を入れる/切る

### 1 電源ボタン( / WiFi)を約5秒間押して電源を入れます。

電源を入れると無線LANがオンになります。また、自動的にインターネットに接続します。

### 2 電源ボタン( / WiFi)を約5秒間押して電源を切ります。



#### 注意

- EM chipのPINコード認証が有効に設定されている場合には、本製品の電源を入れたときに、ディスプレイに「Enter PIN」(30ページ)が表示されます。PINコードの入力は、対応ブラウザを搭載した機器でのみ可能なため、PINコードを入力できない無線LAN端末でのみ使用する場合には、PINコード認証を無効に設定してください。詳しくは、80ページ「PINコード管理」を参照してください。

## 2. 無線LANで接続する

無線LAN機能について.....	39
無線LANで接続する.....	40
ニンテンドー3DS/DSiを接続する.....	40
ニンテンドーDS/DS Liteを接続する.....	41
PSPを接続する.....	42
PSVITAを接続する.....	46
Wiiを接続する.....	47
PS3を接続する.....	48
WPS対応の無線LAN端末を接続する.....	49
Windows/パソコンを接続する(Windows 8).....	50
Windows/パソコンを接続する(Windows 7、Vista).....	52
Windows/パソコンを接続する(Windows XP).....	55
Macを接続する.....	57

## 2. 無線LANで接続する

### 無線LAN機能について

本製品はIEEE802.11b/g/nの無線LAN規格に対応しておりますが、下り(受信)最大通信速度は30Mbps程度となります。

USB接続の場合、下り(受信)最大通信速度75Mbpsに対応します。USB接続はWindowsのみ対応です。

また、本製品はWPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能に対応しており、お使いの無線LAN端末がWPS機能に対応している場合には、無線LANの接続設定を簡単に行うことができます。WPS機能に対応していない無線LAN端末でも、本製品に設定されたSSIDとWPAキー (WEPを利用される場合はWEPキー) を入力するだけで簡単に接続することができます。

SSIDとWPAキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」と「WPA Key」欄を参照してください。

ここでは、ニンテンドー3DS/DSi/DS/DS Lite、PSP(PlayStation Portable)、PSVITA、Wii、PS3 (PlayStation 3)、WPS対応機器、Windows/パソコン、Macを、本製品の無線LANにはじめて接続する場合の操作について説明しています。

iPad、iPod touchとの無線LANの接続設定については、かんたんセットアップマニュアルポータブルデバイス編を参照してください。

#### 説明

- これらの設定は、はじめて接続するときに行います。一度設定した後は、本製品と無線LAN端末の無線LAN機能をオンにするだけで、自動的に接続が再開されます(「自動再接続」などが設定されている場合)。
- 必要に応じて、無線LAN機能の詳細設定を変更することもできます。詳しくは、66ページ「各種機能を設定する」を参照してください。
- セキュリティ保護のため、お買い上げ時に設定されているSSID(88ページ)およびWPAキー(89ページ)を変更して使用することをお勧めします。
- 本製品は、無線LAN端末を同時に10台まで接続することができます。



## 2. 無線LANで接続する

### 無線LANで接続する

#### ニンテンドー3DS/DSiを接続する


手順は、無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA」の場合を例にして説明しています。

※ 本書に記載されているニンテンドー3DS/DSiの接続方法は、イー・アクセス株式会社が独自に検証・制作したものです。本内容について任天堂へのお問い合わせはご遠慮ください。

#### 注意

・無線LANセキュリティ設定の暗号化方式を「WPA」以外に設定している場合は、「WPA」に設定してください。詳しくは、89ページ「無線LANセキュリティ設定」を参照してください。ただし、セキュリティ設定を変更すると、すでに接続設定済みの無線LAN端末が接続できなくなりますのでご注意ください。

#### 1 本製品の電源ボタン( / WiFi ) を約5秒間押して電源を入れます。

無線LAN機能がオンになると  が表示されます。

#### 2 メニューを表示して、次の順番に項目をタッチします。

- ・ニンテンドー3DSの場合  
「本体設定」→「はじめる」→「インターネット設定」→「インターネット接続設定」→「接続先の登録」→「自分で設定する」
- ・ニンテンドーDSiの場合  
「本体設定」→「インターネット」→「接続設定」→「上級者設定」→「未設定」と表示されている接続先の1つをタッチ

#### 3 「アクセスポイントを検索」をタッチします。

#### 4 一覧画面から本製品の「SSID」(GL02P-XXXXXXXXXXXX)が表示されている項目をタッチします。

- ・「SSID」については、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」欄を参照してください。
- ・本製品の「SSID」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目をタッチします。

#### 5 WPAキーを正しく入力し、「決定」または「OK」をタッチします。

- ・WPAキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「WPA Key」欄を参照してください。

#### 6 「OK」をタッチします。

#### 7 「OK」をタッチします。

接続テストが始まります。「接続テストに成功しました。」が表示されたら設定完了です。

## 2. 無線LANで接続する

### ニンテンドーDS/DS Liteを接続する

手順は、無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WEP」の場合を例にして説明しています。


※ ニンテンドーWi-Fi コネクション対応ソフトが必要になります。

※ 本書に記載されているニンテンドーDS/DS Liteの接続方法は、イー・アクセス株式会社が独自に検証・制作したものです。本内容について任天堂へのお問い合わせはご遠慮ください。

#### 注意

- 無線LANセキュリティ設定の暗号化方式を「WEP」以外に設定している場合は、「WEP」に設定してください。詳しくは、89ページ「無線LANセキュリティ設定」を参照してください。ただし、セキュリティ設定を変更すると、すでに接続設定済みの無線LAN端末が接続できなくなりますのでご注意ください。
- 本製品がインターネットに接続していることを確認してください。インターネットに接続されていないと、Wi-Fiコネクションに接続できません。

**1** 本製品の電源ボタン(  / Wi-Fi ) を約5秒間押し続けて電源を入れます。

無線LAN機能がオンになると  が表示されます。

**2** ニンテンドーWi-Fiコネクション対応ソフトを起動し、「Wi-Fiコネクション設定」画面を表示します。

・操作方法については、各ソフトの取扱説明書を参照してください。

**3** 「Wi-Fi接続先設定」→「未設定」と表示されている接続先の1つをタッチします。

**4** 「アクセスポイントを検索」をタッチします。

**5** 一覧画面から本製品の「SSID」(GL02P-XXXXXXXXXXXX)が表示されている項目をタッチします。

- ・「SSID」については、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」欄を参照してください。
- ・本製品の「SSID」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目をタッチします。

**6** WEPキーを正しく入力し、「決定」または「はい」をタッチします。

・WEPキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「WEP Key」欄を参照してください。

**7** 「はい」をタッチします。

**8** 「はい」をタッチします。

接続テストが始まります。「接続に成功しました。」が表示されたら設定完了です。

## 2. 無線LANで接続する


### PSPを接続する

画面表示や手順は、PSP-2000/PSP-3000で、無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA」の場合を例にして説明しています。PSP-1000※を使用した場合や、その他の暗号化方式を設定している場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、PSPの取扱説明書などを参照してください。

※ PSP-1000のシステムソフトウェアver1.52以前では、一部手順が異なります。

2

- 1 本製品の電源ボタン(  / WiFi )を約5秒間押して電源を入れます。

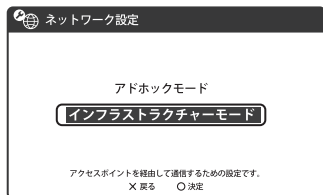
無線LAN機能がオンになると  が表示されます。

- 2 PSPのワイヤレスLANスイッチをオンにします。

- 3 PSPのホームメニュー画面から、「設定」→「ネットワーク設定」の順に選択し、○ボタンを押します。

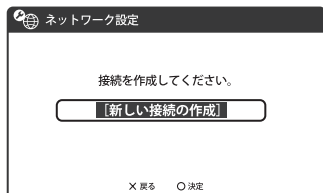


- 4 「インフラストラクチャーモード」を選択し、○ボタンを押します。

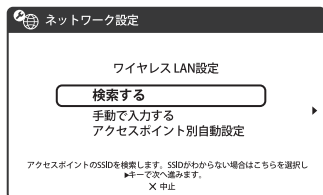


## 2. 無線LANで接続する

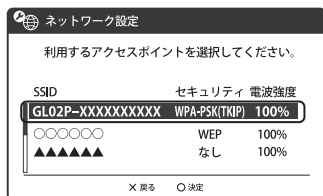
- 5 「新しい接続の作成」を選択し、○ボタンを押します。  
・PSP-1000の場合は、この後、接続名を入力して方向キー「▷」を押します。



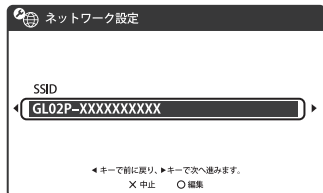
- 6 「検索する」を選択し、方向キー「▷」を押します。



- 7 一覧画面から本製品の「SSID」(GL02P-XXXXXXXXXXXX)が表示されている項目を選択し、○ボタンを押します。  
・「SSID」については、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」欄を参照してください。  
・本製品の「SSID」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択し、○ボタンを押します。

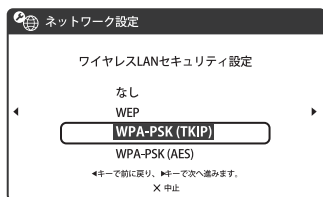


- 8 表示されたSSIDを確認し、方向キー「▷」を押します。

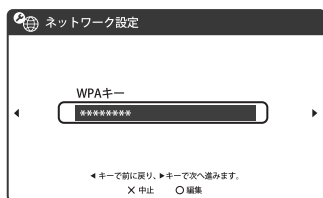


## 2. 無線LANで接続する

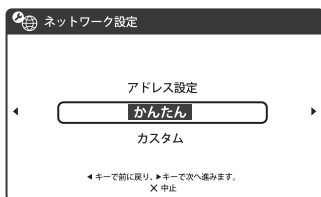
9 「WPA-PSK(TKIP)」を選択し、方向キー「▷」を押します。



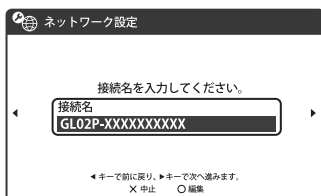
10 ○ボタンを押してWPAキーを正しく入力し、方向キー「▷」を押します。  
・WPAキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「WPA Key」欄を参照してください。



11 「かんたん」を選択し、方向キー「▷」を押します。



12 接続名を確認し、方向キー「▷」を押します。  
・PSP-1000の場合、この画面は表示されません。手順13へお進みください。

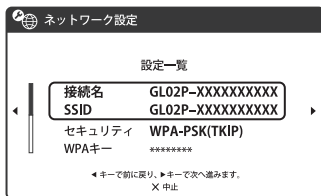


### 説明

・接続名は変更することができます。○ボタンを押して入力画面を表示させ、任意の接続名を入力して設定してください。

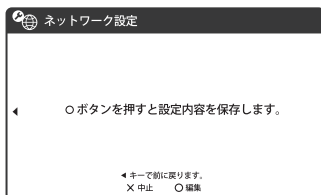
## 2. 無線LANで接続する

### 13 設定一覧を確認し、方向キー「▷」を押します。

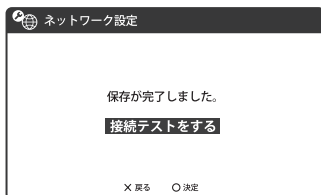


2

### 14 ○ボタンを押します。



### 15 ○ボタンを押します。



### 16 接続テストが始まります。 テストの結果が表示されたら設定完了です。

## 2. 無線LANで接続する

### PSVITAを接続する

画面表示や手順は、無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA」の場合を例にして説明していません。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、PSVITAの取扱説明書などを参照してください。

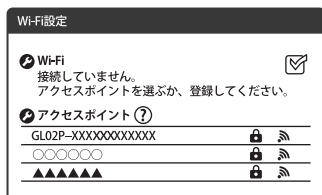
2

1 PSVITAのホーム画面から「設定」→「はじめる」→「ネットワーク」→「Wi-Fi設定」の順に選択します。

2 「Wi-Fi」にチェックを付けます。

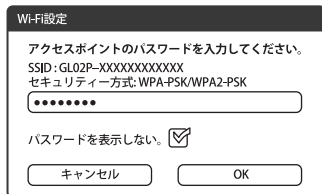
3 「アクセスポイント」の一覧画面から本製品の「SSID」(GL02P-XXXXXXXXXX)が表示されている項目を選択します。

・「SSID」については、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」欄を参照してください。



4 WPAキーを正しく入力し、「OK」をタッチします。

・WPAキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「WPA Key」欄を参照してください。





5 Wi-Fi設定画面に戻ったら、本製品の「SSID」がWi-Fiで接続されていることを確認します。

## 2. 無線LANで接続する

### Wiiを接続する

手順は、無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA」の場合を例にして説明しています。その他の暗号化方式を設定している場合は、一部の操作が異なります。詳しくは、Wiiの取扱説明書などを参照してください。

※ 本書に記載されているWiiの接続方法は、イー・アクセス株式会社が独自に検証・制作したものです。本内容について任天堂へのお問い合わせはご遠慮ください。

- 1 本製品の電源ボタン(  / Wi-Fi) を約5秒間押して電源を入れます。  
無線LAN機能がオンになると  が表示されます。
- 2 Wiiメニュー画面から、「Wii」を選択します。
- 3 「Wii本体設定」を選択します。
- 4 「▷」を選択して、「Wii本体設定2」画面を表示させます。
- 5 「インターネット」を選択します。
- 6 「接続設定」を選択します。
- 7 「未設定」と表示されている接続先の1つを選択します。
- 8 「Wi-Fi接続」を選択します。
- 9 「アクセスポイントを検索」を選択します。
- 10 「OK」を選択します。
- 11 一覧画面から本製品の「SSID」(GL02P-XXXXXXXXXXXX)が表示されている項目を選択します。
  - ・「SSID」については、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」欄を参照してください。
  - ・本製品の「SSID」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目をタッチします。
- 12 WPAキーを正しく入力し、「OK」を選択します。
  - ・WPAキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「WPA Key」欄を参照してください。
- 13 「OK」を選択します。
- 14 「OK」を選択します。  
接続テストが始まります。「接続に成功しました。」が表示されたら設定完了です。





## 2. 無線LANで接続する

### PS3を接続する

手順は、無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA」の場合を例にして説明しています。その他の暗号化方式を設定している場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、PS3の取扱説明書などを参照してください。

2

- 1 本製品の電源ボタン(  / WiFi) を約5秒間押して電源を入れます。  
無線LAN機能がオンになると  が表示されます。
- 2 PS3のホームメニュー画面から、「設定」→「ネットワーク設定」→「インターネット接続設定」の順に選択します。
- 3 「OK」または「はい」を選択し、○ボタンを押します。
- 4 「かんたん」を選択し、方向キー「▷」を押します。
- 5 「無線」を選択し、方向キー「▷」を押します。
- 6 「検索する」を選択し、方向キー「▷」を押します。
- 7 一覧画面から本製品の「SSID」(GL02P-XXXXXXXXXXXX)が表示されている項目を選択し、○ボタンを押します。
  - ・「SSID」については、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」欄を参照してください。
  - ・本製品の「SSID」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択し、○ボタンを押します。
- 8 表示されたSSIDを確認し、方向キー「▷」を押します。
- 9 「WPA-PSK/WPA2-PSK」を選択し、方向キー「▷」を押します。
- 10 ○ボタンを押してWPAキーを正しく入力し、方向キー「▷」を押します。  
WPAキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「WPA Key」欄を参照してください。
- 11 設定一覧を確認し、○ボタンを押します。  
設定が保存されます。
- 12 ○ボタンを押します。  
接続テストが始まります。テストの結果が表示されたら設定完了です。


## 2. 無線LANで接続する

### WPS対応の無線LAN端末を接続する

#### 注意

- ・ WPS機能の設定方法は、機器によって異なります。お使いの無線LAN端末に添付されている取扱説明書などを参照してください。
- ・ 本製品のSSIDステルス機能が有効になっているとWPS機能は使用できません。SSIDステルス機能については、88ページ「無線LAN基本設定」を参照してください。
- ・ 暗号化方式がWEPまたは暗号化なしに設定してある状態でWPSボタンを約10秒間押しすると、WPS機能が開始され暗号化方式がWPAIに変更されます。それ以前にWEPまたは暗号化なしで使用していた無線LAN端末は暗号化方式をWPAIに変更する必要があります。
- ・ WPS機能開始後、約2分の間に機器の接続がない場合には、暗号化方式が元の設定に戻ります。

#### 1 本製品の電源ボタン( / WiFi) を約5秒間押しして電源を入れます。

無線LAN機能がオンになると  が表示されます。

#### 2 無線LAN端末の無線LAN機能をオンにし、必要に応じてWPS設定の準備操作を行います。

#### 3 本製品のWPSボタンを約10秒間押しします。

WPS機能がオンになります。ディスプレイには、WPS設定状態を示すアイコンがアニメーション表示されます(表示については、30ページ「アニメーション/テキスト表示について」を参照してください)。

#### 4 無線LAN端末でWPS機能の接続操作を行います。

設定に成功すると、 **WPS Complete** が表示されます。

- ・ お使いの無線LAN端末によって操作は異なります。

#### 5 無線LAN端末でその他の設定が必要な場合には、画面表示に従って設定操作を行ってください。

#### 説明

- ・ お使いのWPS対応の無線LAN端末にWPS用のPINコードが指定されている場合には、指定されたPINコードをあらかじめ本製品の設定項目「WPS PIN」に設定しておく必要があります。詳しくは、91ページ「WPS設定」を参照してください。また、「WPS PIN」を設定すると、自動的に本製品のWPS機能がオンになります。約2分以内に、無線LAN端末でWPS機能の接続操作を行ってください。

## 2. 無線LANで接続する

### Windowsパソコンを接続する(Windows 8)

画面表示や手順はWindows 8で、本製品の無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA」の場合を例にして説明しています。

※OS標準の接続設定機能を例にして説明しています。

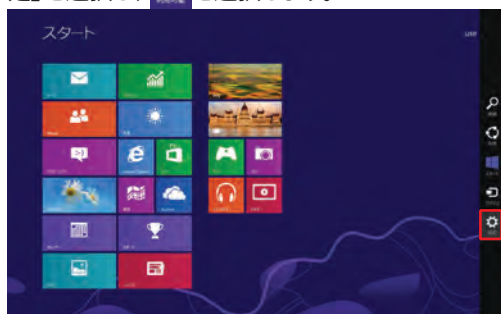
**1** 本製品の電源ボタン(  / WiFi) を約5秒間押して電源を入れます。

無線LAN機能  がオンになるとが表示されます。

**2** パソコンの無線LAN機能をオンにします。

・パソコンの無線LAN機能をオンにする方法は機種ごとに異なりますので、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

**3** 画面の右側からスワイプ(マウスで操作する場合は、画面右上隅／右下隅に移動)→「設定」を選択し、  を選択します。



**4** 本製品のSSID (GL02P-XXXXXXXXXXXX) が表示されている項目を選択し、「自動的に接続する」にチェックが入っていることを確認し、「接続」を選択します。

- ・SSIDについては、同梱の「無線LAN初期設定シール」の「SSID」欄を参照してください。
- ・本製品のSSIDの設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。




## 2. 無線LANで接続する

- 5 「セキュリティキー」にWPAキーを正しく入力し、「次へ」を選択します。  
・WPAキーについては、同梱の「無線LAN初期設定シール」の「WPA Key」欄を参照してください。



- 6 お使いの環境に合わせてPCの共有設定を選択します。



- 7 パソコン画面の  アイコン (Webブラウザ) などを選択し、インターネットに接続できることを確認します。


## 2. 無線LANで接続する

### Windowsパソコンを接続する (Windows 7、Vista)

画面表示や手順はWindows 7で、本製品の無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA」の場合を例にして説明しています。

※ OS標準の接続設定機能を例にして説明しています。

#### 1 本製品の電源ボタン( / WiFi) を約5秒間押して電源を入れます。

無線LAN機能がオンになると  が表示されます。

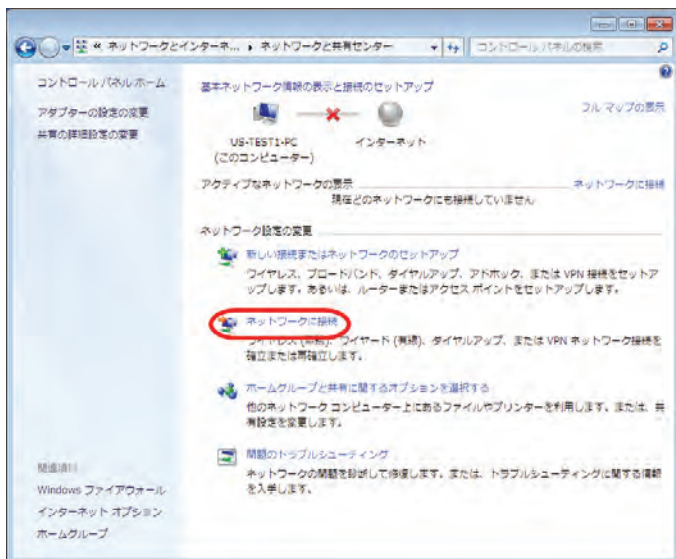
#### 2 パソコンの無線LAN機能をオンにします。

・パソコンの無線LAN機能をオンにする方法は機種ごとに異なりますので、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

#### 3 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順に選択します。

・コントロールパネルの表示方式によっては、直接「ネットワークと共有センター」が選択できる場合もあります。

#### 4 「ネットワークに接続」をクリックします。



## 2. 無線LANで接続する

### 5 本製品の「SSID」(GL02P-XXXXXXXXXX)が表示されている項目をクリックして選択し、「接続」をクリックします。

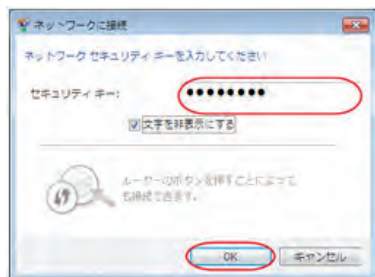
- ・「SSID」については、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」欄を参照してください。
- ・本製品の「SSID」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



2

### 6 WPAキーを「セキュリティキー」に正しく入力し、「OK」をクリックします。

- ・Windows Vistaをお使いの場合は「接続」をクリックします。
- ・WPAキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「WPA Key」欄を参照してください。




## 2. 無線LANで接続する

- 7 手順3～4、またはタスクトレイの  アイコンをクリックして接続状態の画面を開き、「接続」という文字が出ていることを確認します。

Windows Vistaをお使いの場合は、手順6を行った後、「GL02P-XXXXXXXXXXXXに正しく接続しました」と表示されたことを確認し、「閉じる」をクリックします。





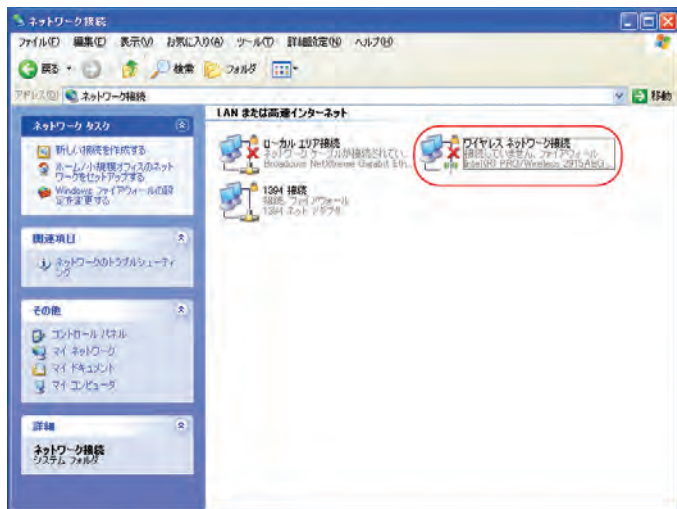
- 8 パソコン画面の  アイコン (Webブラウザ) などをクリックするとインターネットをご利用になれます。

## 2. 無線LANで接続する

### Windowsパソコンを接続する (Windows XP)

画面表示や手順は、本製品の無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA」の場合を例にして説明しています。

- 1 本製品の電源ボタン(  / WiFi) を約5秒間押して電源を入れます。  
無線LAN機能がオンになると  が表示されます。
- 2 パソコンの無線LAN機能をオンにします。  
・パソコンの無線LAN機能をオンにする方法は機種ごとに異なりますので、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 3 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」の順に選択します。  
・コントロールパネルの表示方式によっては、直接「ネットワーク接続」が選択できる場合もあります。
- 4 「ワイヤレスネットワーク接続」をダブルクリックします。

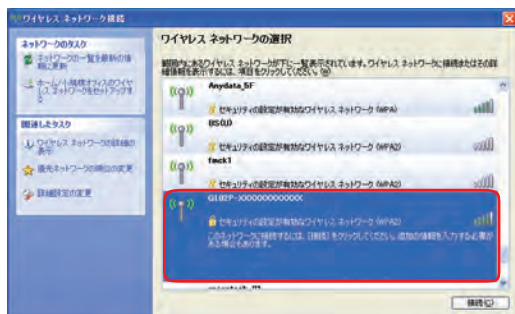




## 2. 無線LANで接続する

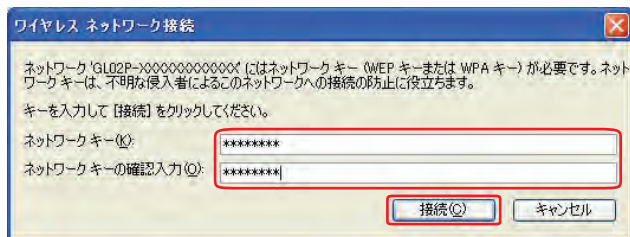
5 本製品の「SSID」(GL02P-XXXXXXXXXX)が表示されている項目をクリックして選択し、「接続」をクリックします。


- ・「SSID」については、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」欄を参照してください。
- ・本製品の「SSID」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



6 WPAキーを「ネットワークキー」と「ネットワークキーの確認入力」に正しく入力し、「接続」をクリックします。

- ・WPAキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「WPA Key」欄を参照してください。





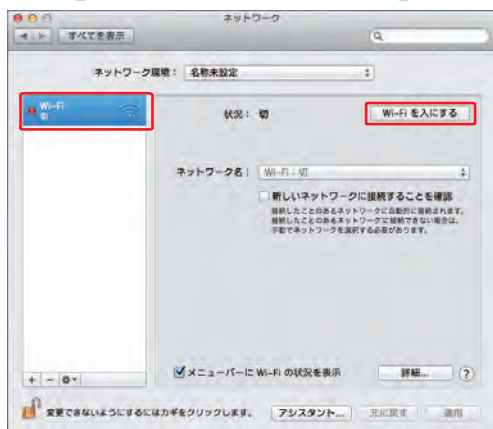
7 パソコン画面の  アイコン (Webブラウザ) などをクリックするとインターネットをご利用になります。

## 2. 無線LANで接続する

### Macを接続する

画面表示や手順はMac OS X 10.7で、本製品の無線LANセキュリティ設定の暗号化方式が「WPA」の場合を例にして説明しています。

- 1 本製品の電源ボタン(  / WiFi) を約5秒間押して電源を入れます。  
無線LAN機能がオンになると  が表示されます。
- 2 アップルメニューから「システム環境設定...」をクリックし、「ネットワーク」をクリックします。
- 3 「Wi-Fi」をクリックし、「Wi-Fiをオンにする」をクリックして無線LAN機能をオンにします。

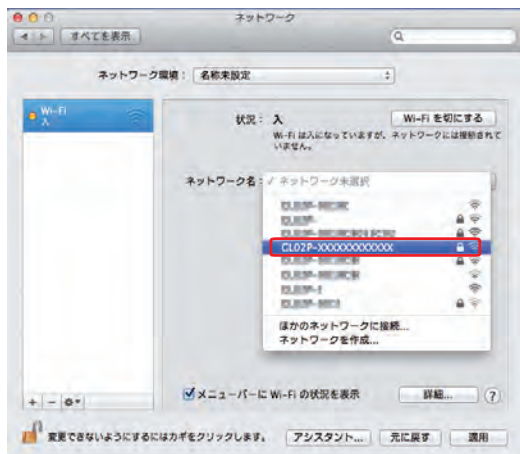


#### 説明

- ・「新しいネットワークに接続することを確認」にチェックが入っていると、Wi-Fiをオンにしたとき、「使ったことのあるネットワークが見つかりません。」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、キャンセルをクリックして「ネットワーク」の画面に戻ってください。

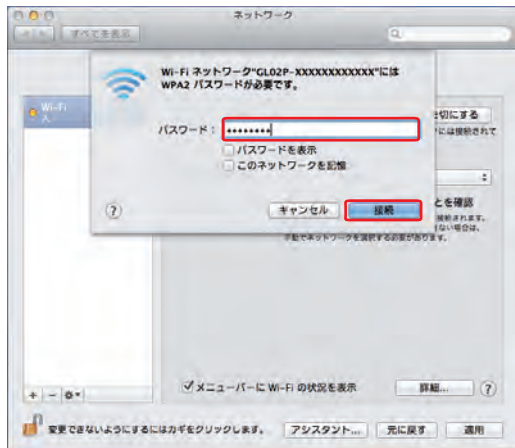
- 4 「ネットワーク名」のプルダウンリストから本製品の「SSID」(GL02P-XXXXXXXXXXXX)が表示されている項目を選択します。
  - ・「SSID」については、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」欄を参照してください。
  - ・本製品の「SSID」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。

## 2. 無線LANで接続する




5 WPAキーを「パスワード」欄に正しく入力し、「このネットワークを記憶」をクリックしてチェックマークを付け、「接続」をクリックします。

・WPAキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「WPA Key」欄を参照してください。



6 「ネットワーク名」が本製品の「SSID」(GL02P-XXXXXXXXXXXX)に、「状況」が「接続済み」になっていることを確認します。

7 パソコン画面の  アイコン (Webブラウザ) などをクリックすると、インターネットをご利用になれます。

## 3.USBモデムモードで接続する

GL02Pコネクションマネージャをダウンロードする .....	60
GL02Pコネクションマネージャをインストールする .....	60
GL02Pコネクションマネージャをアンインストールする .....	62
PC接続設定をUSBモデムモードに設定する .....	64
USBケーブルでパソコンに接続する .....	64

## 3. USBモデムモードで接続する

本製品とWindows/パソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行うには、GL02Pコネクションマネージャをパソコンにインストールし、「PC接続設定」を「USBモデムモード」に設定する必要があります。

### GL02Pコネクションマネージャをダウンロードする

GL02Pコネクションマネージャは、イー・モバイルのホームページからダウンロードし、Windows/パソコンの任意の場所に保存してください。

GL02Pコネクションマネージャは[こちら](#)からダウンロードしてください。

### GL02Pコネクションマネージャをインストールする

画面表示や手順はWindows 8を例にして説明しています。

3

#### 注意

- ・管理者権限 (Administrator) でパソコンにログインしてください。管理者権限の確認方法は128ページ「12.管理者権限 (Administrator) でログインしているのか判らない。」を参照してください。
- ・インストールする前に、起動中のすべてのアプリケーションを終了してください。

#### 1 イー・モバイルのホームページからダウンロードした「GL02P\_Connection\_Manager\_win\_V1\_00.zip」をダブルクリックします。

- ・解凍されると「GL02P\_Connection\_Manager\_win\_V1\_00」フォルダが表示されます。

#### 2 「GL02P\_Connection\_Manager\_win\_V1\_00.exe」を選択します。

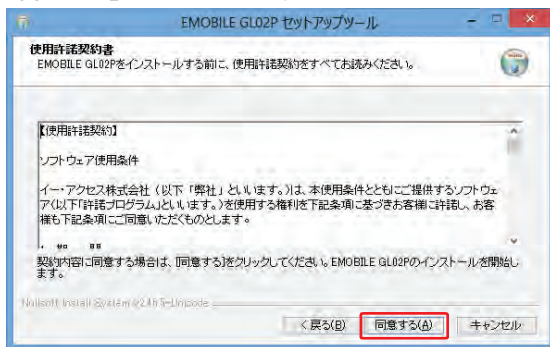
- ・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」(Windows Vistaの場合は「許可」)を選択します。
- ・Windows XPの場合、「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。次の手順に進んでください。

#### 3 「次へ」を選択します。

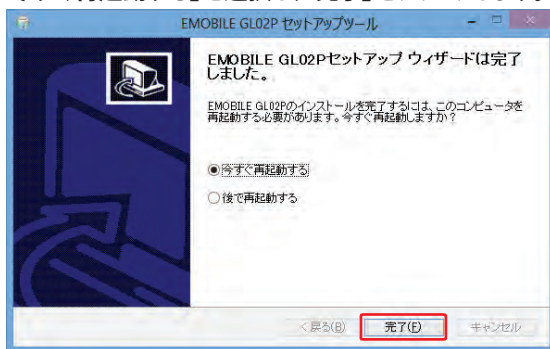


## 3. USBモデムモードで接続する

### 4 「同意する」をクリックします。



### 5 「今すぐ再起動する」を選択し、「完了」をクリックします。



#### 注意

パソコンを再起動しないとインストールが完了しません。インストール後は、必ず再起動してください。

### 6 インストールが完了するとタスクバーにGL02Pコネクションマネージャのアイコンが表示されます。

- ・アイコンが表示されない場合はタスクバーの通知領域の横にある矢印をクリックすると表示されます。

## 3. USBモデムモードで接続する

### GL02Pコネクションマネージャをアンインストールする

インストールしたGL02Pコネクションマネージャを利用しなくなった場合は、WindowsパソコンからGL02Pコネクションマネージャをアンインストール(削除)します。  
画面表示や手順はWindows 8を例にして説明しています。

#### 注意

- 本操作は、Windowsパソコンから、GL02P コネクションマネージャをアンインストールする操作です。アンインストールするとUSB接続での通信が利用できなくなります。
- アンインストール後再度で利用になる場合は、もう一度インストールする必要があります。

3

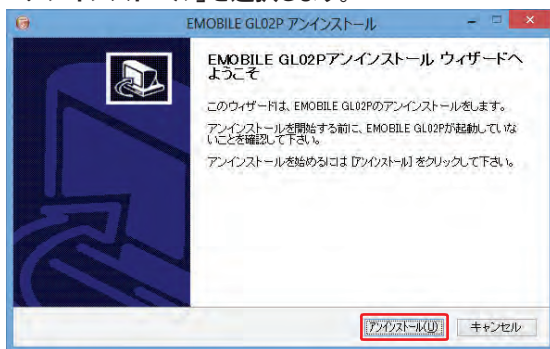
1 デスクトップ画面で、画面の右端からスワイプ(マウスで操作する場合は、画面の右上隅／右下隅に移動)→「設定」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を選択します。

- Windows 7/Windows Vistaの場合は、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラム」→「プログラムのアンインストール」をクリックします。
- Windows XPの場合は、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」の順にクリックします。

2 「EMOBILE GL02P」を選択して「アンインストールと変更」を選択します。

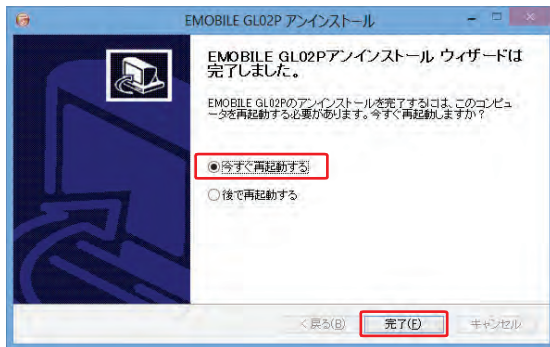
- Windows XPの場合は、「EMOBILE GL02P」を選択して「変更と削除」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」(Windows Vistaの場合は「続行」)をクリックします。
- Windows XPの場合は「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。

3 「アンインストール」を選択します。



### 3. USBモデムモードで接続する

#### 4 「今すぐ再起動する」を選択し、「完了」をクリックします。



#### 注意

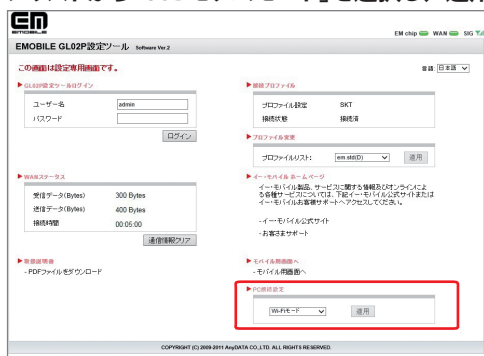
パソコンを再起動しないとアンインストールが完了しません。アンインストール後は、必ず再起動してください。



# 3. USBモデムモードで接続する

## PC接続設定をUSBモデムモードに設定する

- 1 パソコンを起動し、本製品を無線LANで接続します。
- 2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.1.1」と入力しGL02P設定ツールを起動します。
- 3 GL02P設定ツールのトップページが表示されます。画面右下の「PC接続設定」のプルダウンリストから「USBモデムモード」を選択し、「適用」をクリックします。



### 「Wi-Fiモード」に設定する場合

「PC接続設定」のプルダウンリストから「Wi-Fiモード」を選択し、「適用」をクリックします。

#### 注意

- ・「USBモデムモード」に設定すると、本製品とパソコンをUSB接続した場合にUSB経由でインターネット接続されます。
- ・「USBモデムモード」でパソコンとUSB接続する場合は無線LAN端末と接続ができなくなります。また、GL02P設定ツールを起動して設定を変更することもできなくなります。
- ・「USBモデムモード」に設定中でも、パソコンにUSBケーブルで接続していない場合は、Wi-Fi接続ができます。
- ・設定完了後に本製品は自動で再起動します。

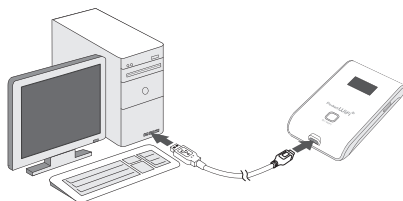
## USBケーブルでパソコンに接続する

本製品をUSBケーブルでWindows/パソコンに接続し、データ通信を行います。USB接続でデータ通信を行う場合、GL02P設定ツールのWAN設定の内容が適用されます。接続先などの設定を変更する場合は、GL02P設定ツールを変更する必要があります。USB接続を行うにはGL02Pコネクショスマネージャをパソコンにインストールし、「PC接続設定」を「USBモデムモード」に設定しておく必要があります。

- 1 本製品のmicroUSBコネクタに、同梱のUSBケーブルのmicroUSBコネクタを接続します。

# 3. USBモデムモードで接続する

2 USBケーブルのUSBコネクタを、パソコンのUSBポートに接続します。



3 タスクバーのアイコン表示がGL02P未接続 (🚫) から3G/LTEネットワーク接続中 (📶) に変わり、インターネットに接続できます。接続状態については下記「本製品の接続状態」を参照してください。

## USB接続を終了する場合

USB接続を終了する場合は、本製品をパソコンから取り外してください。取り外すと、本体ディスプレイの表示が数秒間消灯後、「ChangingMode」と表示され、通常画面に戻り、Wi-Fi接続ができます。

### 注意

- 本製品をパソコンに取り付けた状態でスタンバイ(サスペンド/レジューム)、または休止(ハイバネーション)を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本製品を取り外してから、スタンバイ(サスペンド/レジューム)、または休止(ハイバネーション)を行ってください。
- また、本製品を取り付けた状態で、再起動したり電源を入れたりすると正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に本製品を取り外してください。
- PINコード操作が有効に設定されている場合は、USBモデムとして利用できません。あらかじめ、GL02P設定ツールでPIN認証を行ってください。詳しくは、80ページ「PINコード管理」を参照してください。

## 本製品の接続状態

本製品の状態は、本製品のディスプレイとパソコンのタスクバーで確認できます。

状態	ディスプレイ	パソコン表示	
3G ネットワーク 接続中	USB Modem		GL02P EMOBILE(3G)
LTE ネットワーク 接続中	USB Modem		GL02P EMOBILE(LTE)
圏外	USB Modem		GL02P 圏外
GL02P未接続	-		GL02P GL02Pが接続されていません。 またはGL02PがUSBモデムモード に設定されていません。

## 4. 各種機能を設定する

<b>GL02P設定ツールについて</b> .....	<b>67</b>
GL02P設定ツールを起動する .....	67
GL02P設定ツール画面について(トップページ).....	68
GL02P設定ツール画面について .....	69
<b>現在の接続状態を確認する(接続)</b> .....	<b>70</b>
<b>インターネットや無線LANの情報を確認する(基本情報)</b> .....	<b>71</b>
<b>かんたん設定</b> .....	<b>72</b>
かんたん設定を使用してGL02Pの設定を行う.....	73
<b>各種機能の詳細設定をする(設定)</b> .....	<b>78</b>
WAN設定.....	79
無線LAN設定 .....	87
セキュリティに関する機能の設定をする(ファイアウォール設定) .....	93
システム設定.....	103
<b>サポート情報を確認する(サポート)</b> .....	<b>113</b>
<b>モバイル機器用設定ツールについて</b> .....	<b>114</b>
モバイル機器用設定ツールを起動する(iPod touchの例) .....	114
モバイル機器用かんたん設定を使用する(iPod touchの例) .....	116
モバイル機器用PC接続設定を設定する(iPod touchの例) .....	121
モバイル機器用PINコード入力をする(iPod touchの例) .....	122
モバイル機器用PINコード初期化をする(iPod touchの例).....	123
基本情報(iPod touchの例).....	124

## 4. 各種機能を設定する

### GL02P設定ツールについて

本製品に無線LANで接続したパソコンやモバイル機器から、Webブラウザを使用して本製品の各種機能を設定することができます。

#### ■ モバイル機器からアクセスする場合

iPod touchなどのモバイル機器から設定ツールにアクセスする場合は、114ページ「モバイル機器用設定ツールについて」も参照してください。

#### 注意

- 無線LANで接続したパソコンやモバイル機器から、GL02P設定ツールで「無線LAN設定」など無線LAN接続に関する設定を変更すると、無線LANの接続が切れることがあります。再接続するにはパソコンやモバイル機器の設定変更が必要になりますのでご注意ください。
- GL02P設定ツールを同時に複数のパソコンで表示／設定することはできません。

#### 説明

- GL02P設定ツールは、以下のWebブラウザに対応しています。
- Windows: Microsoft Internet Explorer 6, 7, 8, 9, 10
- Mac OS X: Safari 3, 4, 5

### GL02P設定ツールを起動する

パソコンを起動し、本製品を無線LANで接続します。

Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.1.1」と入力して、GL02P設定ツールを起動します。

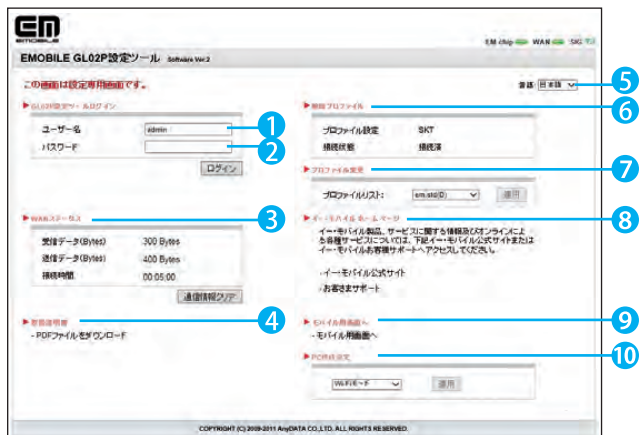
ユーザー名とパスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。

- ユーザー名は「admin」で固定されています。
- お買い上げ時の設定ツールのログインパスワードは、adminです。
- 必要に応じて「言語」欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。

ログインに成功すると、GL02P設定ツールかんたん設定画面が表示されます。かんたん設定の詳細は、72ページ「かんたん設定」を参照してください。

## 4. 各種機能を設定する

### GL02P設定ツール画面について(トップページ)



- ① **ユーザー名**
- ② **パスワード**  
パスワードを入力して、設定ツールにログインします。
- ③ **WANステータス**  
送受信データ量/接続時間を表示します。
- ④ **取扱説明書**  
GL02Pの取扱説明書(本書)のPDFファイルをダウンロードします。
- ⑤ **言語**  
設定ツールの表示言語を切り替えます。
- ⑥ **接続プロファイル**  
現在のプロファイルの情報を表示します。
- ⑦ **プロファイル変更**  
プロファイルを変更します。
- ⑧ **イー・モバイルホームページ**  
イー・モバイルの公式サイト、およびお客さまサポートを表示します。インターネット接続が必要です。
- ⑨ **モバイル用画面へ**  
モバイル機器用の設定ツール画面を表示します。
- ⑩ **PC接続設定**  
Wi-FiモードとUSBモデムモードを選択します。

#### 注意

- ・セキュリティ保護のため、お買い上げ時のパスワードは変更することをお勧めします。変更方法については、104ページ「ログインパスワード変更」を参照してください。
- ・GL02P設定ツールの操作が5分間ない場合、自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。



## 4. 各種機能を設定する

### 現在の接続状態を確認する(接続)

メニューリストから「接続」をクリックします。

接続先設定、接続状態が表示されます。

「接続先変更」をクリックすると、プロファイルを変更することができます。



## 4. 各種機能を設定する

### インターネットや無線LANの情報を確認する(基本情報)

メニューリストから「基本情報」をクリックします。  
WANステータス、無線LANステータス、本体情報が表示されます。



#### 注意

- 表示される受信データ/送信データ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なることがあります。
- 無線LAN接続の受信データ/送信データ量および接続時間はカウントされません。

#### 説明

- 「通信情報クリア」をクリックすると、受信データ、送信データ、接続時間がリセットされます。
- 「詳細...」をクリックすると、無線LANの詳細情報が表示されます。



## 4. 各種機能を設定する

### かんたん設定

設定ツールにログインすると、かんたん設定のページが表示されます。  
かんたん設定では、主要な設定項目を、1～5のステップで簡単に設定できます。  
かんたん設定で設定した内容は、設定完了後に修正することも可能です。



#### 注意

- ・ 設定内容は、最後に「かんたん設定完了」を選択後に保存されます。
- ・ 途中で「取消」をクリックすると、それまでの設定内容は保存されません。
- ・ かんたん設定は、主要な設定項目のみの設定を行います。その他の詳細項目は、左側のメニューから「設定」を選択して設定することができます。

## 4. 各種機能を設定する

### かんたん設定を使用してGL02Pの設定を行う

メニューリストから「かんたん設定」をクリックします。  
かんたん設定スタート画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



#### ■ ステップ1 接続設定

ステップ1では、接続を設定します。  
プロファイルリストからプロファイルを選択し、「次へ」をクリックします。  
接続設定の詳細は、84ページ「接続設定」を参照してください。



## 4. 各種機能を設定する

### ■ ステップ2 無線LAN基本設定

ステップ2では、無線LANの基本設定を行います。

設定が完了したら、「次へ」をクリックします。

無線LAN基本設定の詳細は、88ページ「無線LAN基本設定」を参照してください。

The screenshot shows the '無線LAN基本設定' (Wireless LAN Basic Settings) screen in the EMOBILE GL02P configuration tool. The interface includes a sidebar with navigation options like '設定' (Settings), '無線LAN設定' (Wireless LAN Settings), and 'SSID設定' (SSID Settings). The main area contains instructions for setting the SSID and channel, and a form with the following fields:

SSID:	GL02P.XXXXXXXXXXXXX
国名:	日本
チャンネル:	Auto
IEEE802.11モード:	BigW
SSIDスタイル:	隠す
ブロードキャストモード:	有効
無線LAN自動オフ時間(分):	10

Buttons for '戻る' (Back), '次へ' (Next), and '取消' (Cancel) are located at the bottom of the form area.

# 4. 各種機能を設定する

## ■ ステップ3 無線LANセキュリティ設定

ステップ3では、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定が完了したら、「次へ」をクリックします。

無線LANセキュリティ設定の詳細は、89ページ「無線LANセキュリティ設定」を参照してください。



## 4. 各種機能を設定する

### ■ ステップ4 ログインパスワード変更

ステップ4では、設定ページにログインするためのログインパスワードを設定します。現在の設定を変更しない場合は、「スキップ」をクリックします。設定を変更する場合は、設定が完了したら、「次へ」をクリックします。ログインパスワード変更の詳細は、104ページ「ログインパスワード変更」を参照してください。

The screenshot shows the 'EMOBILE GL02P 設定ツール' (Software Ver.2) interface. The main title is 'ログインパスワード変更' (Login Password Change). A progress bar at the top indicates the current step: 'かんたん設定スタート' (Start), 'ステップ1' (Step 1), 'ステップ2' (Step 2), 'ステップ3' (Step 3), 'ステップ4' (Step 4, highlighted in green), and 'ステップ5' (Step 5). Below the progress bar, a message states: 'このページではログイン時のパスワードの変更が可能です。パスワードは半角英数字15文字以内で設定してください。' (On this page, you can change the password for login. The password must be within 15 alphanumeric characters). There are three input fields: '現在のパスワード:' (Current Password), '新しいパスワード:' (New Password), and '新しいパスワードの確認:' (Confirm New Password). At the bottom, there are four buttons: '戻る' (Back), 'スキップ' (Skip), '次へ' (Next), and '取消' (Cancel). The footer contains the copyright notice: 'COPYRIGHT (C) 2008-2011 ANICOTA CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.'

## 4. 各種機能を設定する

### ■ ステップ5 かんたん設定完了

ステップ5では、ここまで設定した内容が表示されます。  
設定内容を確認し、「かんたん設定完了」をクリックして設定内容を保存します。



「続行」をクリックして、かんたん設定を終了します。



#### 注意

- 設定を変更後に引き続き設定ツールを使用する場合は、設定ツールに再度ログインする必要があります。
- インターネット接続中に設定を変更すると、接続が切断されることがあります。
- これらの設定を変更すると、無線LANで接続できなくなることがあります。その場合には、無線LAN端末の接続設定を変更して、本製品の無線LAN機能をいったんオフにしてから再度オンにしてください。

## 4. 各種機能を設定する

### 各種機能の詳細設定をする(設定)

メニューリストから「設定」をクリックします。アイコンメニューが表示されます。設定する機能のアイコンをクリックします。

#### - WAN設定

インターネット接続に関する詳細機能を設定します。(79ページ)

#### - 無線LAN設定

無線LANに関する詳細機能を設定します。(87ページ)

#### - ファイアウォール設定

ファイアウォールに関する詳細機能を設定します。(93ページ)

#### - システム設定

システムに関する詳細機能を設定します。(103ページ)



## 4. 各種機能を設定する

### WAN設定

インターネットに接続するためのプロファイルなどに関する設定を行います。  
「設定」のアイコンメニューから、「WAN設定」をクリックします。  
「WAN設定」のアイコンメニューが表示されます。  
設定する機能のアイコンをクリックします。





## 4. 各種機能を設定する

### PINコード管理

#### 設定 > WAN設定 > PINコード管理

PIN(Personal Identification Number)とは、EM chipが不正に利用されることを防ぐために使われる暗証番号です。PIN認証の有効/無効、PINコードの認証や変更などを行うことができます。



#### 有効/無効にする場合

- 1 「PINコード」に正しいPINコードを入力します。
- 2 「適用」をクリックします。

#### 認証を行う場合

- 1 「PINコード」に正しいPINコードを入力します。
- 2 「PINコード操作」から「認証する」を選択します。
- 3 「適用」をクリックします。

## 4. 各種機能を設定する

変更する場合(有効のとき)

1 「PINコード操作」から「変更する」を選択します。

2 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
PINコード操作	適用する操作を選択します。	有効にする、無効にする、 認証する、変更する	(なし)
PINコード	現在設定されているPINコードを入力します。	4～8桁の半角数字	(なし)※
新しいPINコード	PINコードを変更する場合に、新しいPINコードを入力します。	4～8桁の半角数字	(なし)
PINコードの確認	確認のため、新しいPINコードを再入力します。	4～8桁の半角数字	(なし)
PUKコード	PINロック時に表示されます。 PINロック解除コード(PUKコード)を入力します。	8桁の半角数字	(なし)
PIN1コード入力 可能回数	PINコードを3回連続して間違えて入力すると、 ロックされて使えなくなります。	(なし)	3

※ お買い上げ時のEM chipのPINコードは、「9999」に設定されています。

3 設定が完了したら「適用」をクリックします。

### 説明

- PINコード操作を有効に設定すると、本製品の電源を入れたときに、ディスプレイに「Enter PIN」(30ページ)と表示されます。PINコード入力是对应ブラウザを搭載した機器でのみ可能なため、PINコードを入力できない無線LAN端末のみで使用するには、PINコード操作を無効に設定してください。
- PINコード入力を3回連続で間違えるとPINロック状態になり、PINロックを解除するには、PINロック解除コードの入力が必要です。PINロック解除コード(PUKコード)については、お問い合わせ先(139ページ)にご確認ください。また、PINロック解除コード(PUKコード)を10回連続で間違えると、完全ロック状態になります。完全ロック状態を解除するには、所定の手続きが必要になります。お問い合わせ先(139ページ)にご連絡ください。手続きに伴い手数料が発生することがあります。

## 4. 各種機能を設定する

### ■ 周波数選択設定

#### 設定 > WAN設定 > 周波数選択設定

ネットワークをスキャンするときに選択される周波数を指定することができます。



4

### 1 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
周波数	選択される周波数を指定します。	自動、LTEのみ、WCDMAのみ	自動

### 2 設定が完了したら「適用」をクリックします。

#### 注意

- ・インターネット接続中に変更すると通信が切断されます。
- ・本製品を海外で使用する場合は、周波数の設定に関わらず自動的にWCDMAが使用されます。

## 4. 各種機能を設定する

### ■ ネットワークの検索

#### 設定 > WAN設定 > ネットワークの検索

接続可能なネットワークの検索方法を設定します。



### 1 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
モード	登録モードを選択します。	自動、手動	自動
ネットワーク	モードで「手動」を選択したときに、「検索を開始」を選択後に表示されます。利用可能なネットワークを選択します。	(リスト項目)	(なし)

### 2 設定が完了したら「適用」をクリックします。

#### 注意

- ・インターネット接続中に変更すると通信が切断されます。
- ・通常ご利用いただく場合は「自動」を選択してください。

## 4. 各種機能を設定する

### ■ 接続設定

#### 設定 > WAN設定 > 接続設定

インターネットに接続するための設定や通信の設定を行います。



1 「プロファイルリスト」から、デフォルト(既定値)に設定するプロファイルを選択します。

2 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト	設定するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大16件※1	em.std
MTU(Bytes)	最大転送ユニットサイズを指定します。	1500	1500※2

※1: お買い上げ時、本製品には以下の2つのプロファイルが設定されています。これらのプロファイルは、削除/編集できません。

em.std	本接続先は本製品の初期設定となっています。 通常はそのまま変更せずにご利用ください。
em.gbl	グローバルIPアドレスのご利用が可能な接続先です。

※2: 変更できません。

3 設定が完了したら「適用」をクリックします。

## 4. 各種機能を設定する

### ■ プロファイル設定

#### 設定 > WAN設定 > プロファイル設定

プロファイル(接続設定)を新規作成、編集、削除することができます。

あらかじめ設定されている2つのプロファイル(em.std, em.gbl)を含め、最大16件までのプロファイルを追加できます。

#### <例>既存のプロファイルを編集する場合

- 「プロファイルリスト」から、編集するプロファイルを選択します。
  - 新規作成する場合  
「プロファイル名」に任意の接続設定名を入力して、手順2以降を行います。
  - 削除する場合  
「プロファイルリスト」から削除する接続設定を選択し、「削除」をクリックします。

## 4. 各種機能を設定する

### 2 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト	編集/削除するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大16件※1	em.std
プロファイル名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	最大63文字までの半角英数字と半角記号( ", ; < > & \ ¥ は除く)	em.std
接続番号	インターネット接続先の番号です。	—	*99#※2
ユーザー名	ユーザー名を設定します。	最大63文字までの半角英数字と半角記号( ", ; < > & \ ¥ は除く)	em
パスワード	パスワードを設定します。	最大63文字までの半角英数字と半角記号( ", ; < > & \ ¥ は除く)	em
認証方式	認証化方式を設定します。	PAP、CHAP	PAP
APN	APNを指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	スタティック
	APNを設定します。	最大63文字までの半角英数字と半角記号( ", ; < > & \ ¥ は除く)	em.std
IPアドレス	IPアドレスを指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
	本製品のグローバルIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号	(なし)

※1: お買い上げ時、本製品には以下の2つのプロファイルが設定されています。これらのプロファイルは、削除/編集できません。

em.std	本接続先は本製品の初期設定となっています。 通常はそのまま変更せずにご利用ください。
em.gbl	グローバルIPアドレスのご利用が可能な接続先です。

※2: 変更できません。

### 3 設定が完了したら「保存」をクリックします。

## 4. 各種機能を設定する

### 無線LAN設定

無線LAN機能の各種の設定を行います。  
「設定」のアイコンメニューから「無線LAN設定」をクリックします。  
「無線LAN設定」のアイコンメニューが表示されます。  
設定する機能のアイコンをクリックします。



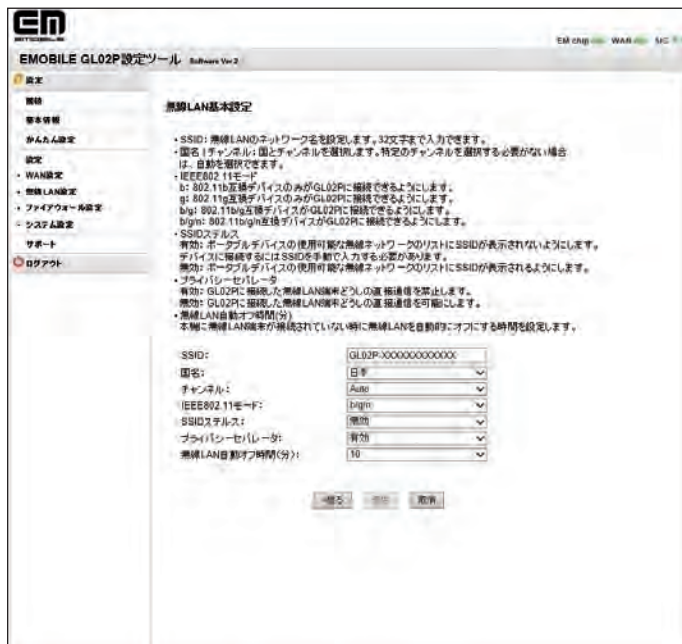


# 4. 各種機能を設定する

## 無線LAN基本設定

### 設定 > 無線LAN設定 > 無線LAN基本設定

無線LANの基本的な機能を設定できます。



### 1 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID	ネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「_」、「-」、「 」、「(半角スペース)」	※1
国名	国名を選択します。	(リスト項目)	日本
チャンネル	使用チャンネルを選択します。	Auto、1、2、…、13	Auto
IEEE802.11モード	無線LAN機能の動作モードを選択します。	b、g、b/g、b/g/n	b/g/n
SSIDステルス※2	SSIDが表示されないように設定します。	有効、無効	無効
プライバシーセパレータ	本製品に接続している無線LAN端末(パソコンなど)の相互通信を禁止するかどうかを設定します。有効にした場合、LAN接続でのファイル共有などが利用できません。	有効、無効	有効
無線LAN自動オフ時間(分)	無線LANを自動的にオフにするまでの時間を設定します。	無効、5、10、20、30、60	10

※1：お買い上げ時のSSIDについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」欄を参照してください。

※2：「有効」に設定すると、WPS機能が利用できなくなりますのでご注意ください。

## 4. 各種機能を設定する

### 2 設定が完了したら「適用」をクリックします。

#### 注意

- これらの設定を変更すると、無線LANで接続できなくなることがあります。その場合には、無線LAN端末の接続設定を変更して、本製品の無線LAN機能をいったんオフにしてから再度オンにしてください。
- 無線LANに許容される通信速度やチャンネルなどの設定値は、国によって異なります。本製品を日本国外でお使いになる場合には、正しい国名を設定して、各国の通信事情に十分注意してご利用ください。

### 無線LANセキュリティ設定

#### 設定 > 無線LAN設定 > 無線LANセキュリティ設定

無線LANのセキュリティ機能を設定できます。

The screenshot shows the '無線LANセキュリティ設定' (Wireless LAN Security Settings) page in the EMOBILE GL02P configuration tool. The page is titled 'EMOBILE GL02P 設定ツール Software Ver.2'. On the left, there is a navigation menu with options like '設定', '無線LAN設定', and 'ワイファイ機能設定'. The main content area contains detailed instructions and configuration fields for security settings.

**無線LANセキュリティ設定**

- IEEE802.11認証  
Open System, Shared Key: 認証方式としてWEP/PSKは暗号化なしを選択することができます。WPA-PSK, WPA2-PSK, WPA/WPA2-PSK: 暗号化方式としてAES, TKIP, AES+TKIPを選択することができます。
- ※ GL02Pが対応していない認証方式を選択すると、接続できない場合があります。
- 暗号化方式  
暗号化なし: 認証・暗号化を行いません。第三者に通信内容を奪取されたネットワークを悪用される可能性があります。この暗号化方式のご利用は推奨しません。  
WEP: 64bitまたは128bitの暗号化を行います。  
AES: AES方式で256bitの暗号化を行います。  
TKIP: TKIP方式で256bitの暗号化を行います。  
AES+TKIP: 暗号化方式としてAESまたはTKIPを自動的に選択します。
- ※ TKIPまたはWEPを選択した場合、最大速度は54Mbpsとなります。
- ※ AES+TKIPを選択した場合はWPA-PSK TKIP, WPA2-PSK AESが利用できます。
- WPA事前共有キー  
半角英数字で8文字以上63文字以下または64桁の16進数の事前共有キーを入力してください。  
WEPキー  
64bitキーを設定する場合は5文字の半角英数字または16桁の16進数(0-9, A-F)を入力してください。  
128bitキーを設定する場合は13文字の半角英数字または26桁の16進数を入力してください。
- 現在のWEPキー  
ブロード暗号化に使用するデフォルトのWEPキー。APとクライアントに同じデフォルトWEPキーを設定することを推奨します。

IEEE802.11認証:   
WPA暗号化方式:   
WPA事前共有キー:

©COPYRIGHT(C)2009-2011 InpactYEA CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

## 4. 各種機能を設定する

### 1 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IEEE802.11認証	認証方式を選択します。	Open System、Shared Key、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
暗号化方式	暗号化モードを選択します。	暗号化なし、WEP	WEP
WEPキー1~4	「IEEE802.11認証」で「OpenSystem」または「Shared Key」を選択し、「暗号化方式」で「WEP」を選択しているときに表示されます。 WEPキーを設定します。	64bitキー：5文字の半角英数字と半角記号(“:” ; < > & \ ¥ は除く) または10桁の16進数(0~9、A~F) 128bitキー：13文字の半角英数字と半角記号(“:” ; < > & \ ¥ は除く) または26桁の16進数(0~9、A~F)	WEPキー (WEPキー1のみ) ※
現在のWEPキー	「IEEE802.11認証」で「OpenSystem」または「Shared Key」を選択し、「暗号化方式」で「WEP」を選択しているときに表示されます。デフォルト(既定値)のWEPキーを設定します。	1~4	1
WPA暗号化方式	「IEEE802.11認証」で「WPA-PSK」「WPA/WPA2-PSK」または「WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。暗号化モードを選択します。	AES、TKIP、AES+TKIP	AES+TKIP
WPA事前共有キー	「IEEE802.11認証」で「WPA-PSK」「WPA/WPA2-PSK」または「WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。使用するWPA事前共有キーを指定します。	8文字以上、最大63文字までの半角英数字と半角記号(“:” ; < > & \ ¥ は除く) または64桁の16進数(0~9、A~F)	WPAキー※

※ お買い上げ時のWEPキーとWPAキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「WEP Key」「WPA Key」欄を参照してください。

### 2 設定が完了したら「適用」をクリックします。

#### 注意

- これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みの無線LAN端末が接続できなくなることがあります。その場合には、無線LAN端末の接続設定を変更してください。
- 通信の安全性を高めるために、暗号化方式はWEPよりもWPA/WPA2に設定することをお勧めします。ただし、一部のゲーム機などではこの方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。
- WPA/WPA2のキー更新頻度は3600秒に固定されており、変更することはできません。

## 4. 各種機能を設定する

### ■ WPS設定

#### 設定 > 無線LAN設定 > WPS設定

WPS機能用のPINコードを設定することができます。



#### 1 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS PIN	WPS対応機器に指定されているPINコードを設定します。	8桁の半角数字	(なし)

#### 2 設定が完了したら「適用」をクリックします。

##### 説明

- WPS PINを設定すると、自動的に本製品のWPS機能がオンになります。約2分以内に、WPS対応機器でWPS機能の接続操作を行ってください。

# 4. 各種機能を設定する

## MACアドレスフィルタリング設定

### 設定 > 無線LAN設定 > MACアドレスフィルタリング設定

無線LAN端末のMACアドレスを登録して、接続の許可/拒否を設定し、セキュリティ機能を強化できます。



4

## 1 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
MACアドレス フィルタリング モード	MACアドレスフィルタ機能の動作モードを選択します。	無効、許可、拒否※	無効
MACアドレス	接続を許可、または拒否する無線LAN端末のMACアドレスを10個まで設定できます。	00～FFの6組の番号	(なし)

※「許可」と「拒否」を同時に設定することはできません。

## 2 設定が完了したら「適用」をクリックします。

### 説明

- これらの設定を変更すると、無線LANで接続できなくなることがあります。その場合には、無線LAN端末のMACアドレスを確認し、正しく設定しなおしてください。
- これらの設定を有効にしている場合、許可されていない無線LAN端末は、WPS機能を利用しても接続できなくなります。

## 4. 各種機能を設定する

### セキュリティに関する機能の設定をする(ファイアウォール設定)

「設定」アイコンメニューから「ファイアウォール設定」をクリックします。  
「ファイアウォール設定」のアイコンメニューが表示されます。  
設定する機能のアイコンをクリックします。



# 4. 各種機能を設定する

## ■ ファイアウォール有効/無効

設定 > ファイアウォール設定 > ファイアウォール有効/無効  
ファイアウォール機能の有効/無効などを設定します。



4

### 1 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ファイアウォールを有効にする	ファイアウォール機能を使用するかどうかを設定します。	(オン、オフ)	(オン)
IPアドレスフィルタリング機能を有効にする	IPアドレスフィルタリング機能を使用するかどうかを設定します。	(オン、オフ)	(オン)

### 2 設定が完了したら「適用」をクリックします。

#### 説明

・ファイアウォールを有効に設定すると、外部からのLAN側に対するアクセスが遮断されるため、安全性が向上します。また、一部のアプリケーションが使えなくなったり、機能が制限されたりすることがありますが、以降の各機能を適切に設定することにより、これらの制限を回避することができます。

# 4. 各種機能を設定する

## DHCP設定

### 設定 > ファイアウォール設定 > DHCP設定

LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。



### 1 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPアドレス	本製品のプライベートIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	192.168.1.1
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	0～255の4組の番号	255.255.255.0
DHCPサーバ	DHCP機能を利用するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
開始IPアドレス	無線LAN端末に割り当てる最小のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	192.168.1.100
終了IPアドレス	無線LAN端末に割り当てる最大のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	192.168.1.200
DHCPリースタイム(秒)	IPアドレスのリースタイムを設定します。	60～21600	21600
DNS設定	DNSサーバアドレスをDHCP機能で指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
プライマリDNS	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	(なし)
セカンダリDNS	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号	(なし)



## 4. 各種機能を設定する

### 2 設定が完了したら、「適用」をクリックします。

結果画面が表示されます。

設定内容が適用され、自動的に本製品が再起動します。約60秒後に再起動が完了します。

### 3 「続行」をクリックします。

ログイン画面に戻ります。

• 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

#### 注意

- 「IPアドレス」と「開始IPアドレス」、「終了IPアドレス」には、同じサブネットワーク内のIPアドレスを指定してください。
- 「終了IPアドレス」には、「開始IPアドレス」より大きいIPアドレスを指定してください。
- 上記の設定を変更すると、GL02P設定ツールが動作しなくなったり表示されなくなることがあります。その場合には、パソコンの再起動後、正しいIPアドレスを指定してGL02P設定ツールを起動しなおしてください。
- 「IPアドレス」または「サブネットマスク」を変更すると、「IPアドレスフィルタリング設定」「ポートマッピング設定」「DMZ設定」の設定変更が必要になる場合があります。

## 4. 各種機能を設定する

### ■ IPアドレスフィルタリング設定

#### 設定 > ファイアウォール設定 > IPアドレスフィルタリング設定

パケットに設定されたプロトコルやIPアドレス、ポート番号などを読み取り、データをフィルタする機能です。最大16件までのルールを登録できます。

The screenshot shows the 'IPアドレスフィルタリング設定' (IP Address Filtering Settings) page in the EMOBILE GL02P configuration tool. The page includes a sidebar with navigation options like '基本情報', 'WAN設定', and 'ファイアウォール設定'. The main content area contains instructions, a form for rule configuration, and a table of existing rules.

**IPアドレスフィルタリング設定**

設定したルールによってパケットをフィルタリングします。  
WANポート番号:ポート番号の設定範囲は1-65535です。  
\* 有効/無効は無線通信を行うための、半透明には予約2つのフィルタリング条件が設定されています。  
\* 別に必要のIPアドレスを指定してご活用ください。  
※ 注意: 設定は「追加更新」にて設定一覧に追加更新後、「適用」をクリックすることで有効になります。

プロトコル:  ステータス:   
WAN側IPアドレス: , WANポート番号:   
種別: , 方向:

**設定一覧**

WAN側IPアドレス	WANポート番号	プロトコル	ステータス	種別
****	130-130	Both	有効	🔒
****	445	Both	無効	🔒

Copyright © 2009-2011 Sharp Corporation. All rights reserved.

#### 注意

- この機能を利用するには、「ファイアウォール有効/無効」の「IPアドレスフィルタリング機能を有効にする」をオンに設定しておく必要があります。(94ページ)

#### 説明

- サービスの種類や用途、使用するアプリケーションによって、使用されるプロトコルとポート番号が指定されているため、それらを適切に設定することにより、特定の機能に関する通信のみを遮断することができます。本製品には、意図しない情報漏えいを防ぐためあらかじめ2つのフィルタ条件が設定されています。

## 4. 各種機能を設定する

### ルールを登録する場合

#### 1 各項目を設定します。

設定項目	方向	設定範囲	初期値
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	Both、TCP、UDP	※1
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	有効、無効	※1
WAN側IPアドレス	ルールを適用するWAN側(送信先)端末のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号とワイルドカードとして「*」※2	※1
WANポート番号	ルールを適用するWAN側(送信先)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1~65535 範囲指定する場合は「-」で連結	※1
種別	パケットに対する動作です。	拒否	拒否※3
方向	ルールを適用するパケットの送信方向です。	IN	IN※3

※1: お買い上げ時、本製品には2つのフィルタ条件が設定されています。134ページの※4を参照してください。

※2: 「\*」を任意の文字として下記のように使うことができます。

1. \*.\*.\*.\*
2. 10.\*.\*.\*
3. 10.10.\*.\*
4. 10.10.10.\*

※3: 変更できません。

4

#### 2 「追加/更新」をクリックします。

・続けて別のルールを登録する場合は、手順1~2を繰り返します。

#### 3 設定が完了したら「適用」をクリックします。

確認画面が表示されます。

#### 4 「OK」をクリックします。

設定が完了し、登録されます。

### 登録したルールを変更する場合

#### 1 設定リストから、設定を変更したいルールの「操作」欄に表示されている編集アイコンをクリックします。

設定内容が設定画面に読み込まれます。

#### 2 設定を変更し、「追加/更新」をクリックします。

・必要に応じて手順1~2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

#### 3 設定が完了したら「適用」をクリックします。

確認画面が表示されます。

#### 4 「OK」をクリックします。

設定が完了し、登録されます。

## 4. 各種機能を設定する

### 登録したルールを削除する場合

- 1 設定リストから、削除したいルールの「操作」欄に表示されている削除アイコンをクリックします。  
項目がグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。
- 2 「OK」をクリックします。  
グレー表示部分が削除されます。  
・必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。
- 3 設定が完了したら「適用」をクリックします。  
確認画面が表示されます。
- 4 「OK」をクリックします。  
設定が完了し、登録されます。

### ■ ポートマッピング設定

#### 設定 > ファイアウォール設定 > ポートマッピング設定

インターネットからLAN内の特定の端末にアクセスできるように設定します。サーバやFTPを公開する場合や、一部のオンラインゲームやメッセンジャーソフトなどを使用する場合に設定します。最大16件までのルールを登録することができます。

The screenshot shows the 'EMOBILE QL02P 設定ツール' (Software Ver.2) interface. The 'ポートマッピング設定' (Port Mapping Setting) screen is active. It includes a sidebar with navigation options like '基本設定', 'WAN設定', and 'ログアウト'. The main area contains a title bar, a description of port mapping, and a form with fields for 'プロトコル' (Both), 'サービス名' (Service Name), 'LAN側IPアドレス' (LAN Side IP Address), 'サービス選択' (Service Selection), 'ステータス' (Status), 'WANポート番号' (WAN Port Number), and 'LANポート番号' (LAN Port Number). There are buttons for '戻る' (Back), '追加更新' (Add/Update), 'OK', and '取消' (Cancel). At the bottom, there is a table titled '設定一覧' (Setting List) with columns for 'サービス名', 'WANポート番号', 'LAN側IPアドレス', 'LANポート番号', 'プロトコル', 'サービス', and '操作'.

## 4. 各種機能を設定する

### 注意

・この機能ではLAN側端末をIPアドレスで指定するため、公開するサーバには、DHCP設定にて割り当てられていない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。(95ページ)

### 説明

・セキュリティ対策などのためにポート番号の変換を行いたい場合のみ、異なる番号を設定してください。サーバ公開やオンラインゲームを使用する場合の設定では、通常ポート番号を変換する必要はありません。

### ルールを登録する場合

#### 1 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	Both、TCP、UDP	Both
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	有効、無効	無効
サービス名	ルールに任意の名前を付けます。	最大40文字までの半角英数字と半角記号(、"; < > & \ ¥ は除く)	(なし)
WANポート番号	ルールを適用するWAN側(送信元)ポート番号を設定します。	1~65535	(なし)
LAN側IPアドレス	サーバとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号	(なし)
LANポート番号	サーバとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送する際の送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がない場合は、「WANポート番号」と同じ値を設定します。	1~65535	(なし)
サービス選択※	サーバの種類を選択し、一般的な設定を入力することができます。	(リスト項目)	(任意設定)

※一般的なサーバ機能を設定する場合には、サーバの種類を選択すると、適切なポート番号などが自動的に入力され、設定が簡単になります。リストに表示されないサーバ機能を設定する場合には、「任意設定」を選択し、各項目を手動で設定してください。

#### 2 「追加/更新」をクリックします。

・続けて別のルールを登録する場合は、手順1~2を繰り返します。

#### 3 設定が完了したら「適用」をクリックします。

確認画面が表示されます。

#### 4 「OK」をクリックします。

設定が完了し、登録されます。

## 4. 各種機能を設定する

### 登録したルールを変更する場合

- 1 設定一覧から、設定を変更したいルールの「操作」欄に表示されている編集アイコンをクリックします。  
設定内容が設定画面に読み込まれます。
- 2 設定を変更し、「追加/更新」をクリックします。  
・必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。
- 3 設定が完了したら「適用」をクリックします。  
確認画面が表示されます。
- 4 「OK」をクリックします。  
設定が完了し、登録されます。

### 登録したルールを削除する場合

- 1 設定リストから、削除したいルールの「操作」欄に表示されている削除アイコンをクリックします。  
項目がグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。
- 2 「OK」をクリックします。  
グレー表示部分が削除されます。  
・必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。
- 3 設定が完了したら「適用」をクリックします。  
確認画面が表示されます。
- 4 「OK」をクリックします。  
設定が完了し、登録されます。

## 4. 各種機能を設定する

### DMZ設定

#### 設定 > ファイアウォール設定 > DMZ設定

LAN内の特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定することができます。Webサーバを公開したり、オンラインゲームを利用するときに、ポート番号などを設定しなくても利用できるようになります。



#### 注意

- DMZホストに設定した端末は、外部に対してすべてのポートをオープンしていることになるため、端末のパーソナルファイアウォール機能などを設定して、安全性を確保するようお勧めします。
- この機能ではLAN側端末をIPアドレスで指定するため、DMZホストになる端末には、DHCP設定にて割り当てられていない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。(95ページ)

### 1 各項目を設定します。

設定項	説明	設定範囲	初期値
DMZステータス	DMZホストを設定するかどうかを選択します。	有効、無効	無効
DMZ IPアドレス	DMZホストのIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号	192.168.1.100

### 2 設定が完了したら「適用」をクリックします。

# 4. 各種機能を設定する

## システム設定

GL02P設定ツールや本製品に関する全般的な設定を行います。「設定」アイコンメニューから「システム設定」をクリックします。「システム設定」のアイコンメニューが表示されます。設定する機能のアイコンをクリックします。





## 4. 各種機能を設定する

### ■ ログインパスワード変更

#### 設定 > システム設定 > ログインパスワード変更

GL02P設定ツールのログイン時に入力するパスワードを変更できます。



現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、確認のために新しいパスワードを再度入力します。パスワードは最大15文字までの半角英数字と半角記号(“:; < > & \ ¥ は除く)で設定します。「変更」をクリックします。

## 4. 各種機能を設定する

### ■ バックアップ&リストア

#### 設定 > システム設定 > バックアップ&リストア

GL02P設定ツールの設定内容を、ログインしているパソコンに保存したり、保存した設定を読み込むことができます。



#### バックアップ操作

- 1 現在の設定を保存するには、「バックアップ」をクリックします。
- 2 確認画面が表示されたら、「保存」をクリックします。
- 3 保存先フォルダとファイル名を指定し、「保存」をクリックします。Bakファイルとして保存されます。

#### 注意

・ブラウザの設定によっては、保存先フォルダとファイル名を指定できない場合があります。

#### リストア操作

- 1 「参照...」をクリックして、復元するファイルを選択し、「OK」をクリックします。
- 2 「ファイルからリストア」をクリックすると、確認画面が表示されます。「OK」をクリックすると、リストアが開始されます。
- 3 リストア完了後、再度設定を行う場合は、もう一度ログインしてください。

## 4. 各種機能を設定する

### 工場出荷設定

#### 設定 > システム設定 > 工場出荷設定

本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

EM chipの登録内容は削除されません。



1 「リストア」をクリックすると、確認画面が表示されます。

2 お買い上げ時の状態に戻すには、「OK」をクリックします。

設定内容が変更され、自動的に本製品が再起動して、ログイン画面に戻ります。約60秒後に再起動が完了します。

・設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

## 4. 各種機能を設定する

### 再起動/電源オフ

#### 設定 > システム設定 > 再起動/電源オフ

本製品を再起動したり、電源を切ることができます。



#### 再起動の操作

- 1 「再起動」をクリックします。確認画面が表示されます。
- 2 「OK」をクリックすると、本製品が再起動し、ログイン画面に戻ります。約30秒後に再起動が完了します。
  - ・設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

#### 電オフの操作

- 1 「電源オフ」をクリックします。確認画面が表示されます。
- 2 「OK」をクリックすると、本製品の電源が切れます。

## 4. 各種機能を設定する

### ■ ソフトウェアアップデート

#### 設定 > システム設定 > ソフトウェアアップデート

本製品のファームウェアを最新のバージョンに更新します。

#### 注意

- ・ファームウェアアップデート後、お買い上げ時の状態に戻りますので、あらかじめ設定内容をパソコンに保存しておくことをおすすめします。詳しくは、105ページ「バックアップ&リストア」を参照してください。

- 1 「参照...」をクリックして、更新ファイルを選択し、「OK」をクリックします。  
更新ファイルは、binファイルです。



## 4. 各種機能を設定する

2 「使用許諾契約」の内容を確認し同意する場合は、「同意する」にチェックを入れてください。



4

3 「更新の開始」をクリックすると、確認画面が表示されます。「OK」をクリックすると、更新が開始されます。



## 4. 各種機能を設定する

- 4 ファームウェアアップデート後、お買い上げ時の状態に戻ります。設定を続ける場合はもう一度ログインしてください。



## 4. 各種機能を設定する

### ■ バージョン情報

#### 設定 > システム設定 > バージョン情報

本製品に関するバージョン情報を確認することができます。



#### 注意

- 実際の表示とは異なります。



## 4. 各種機能を設定する

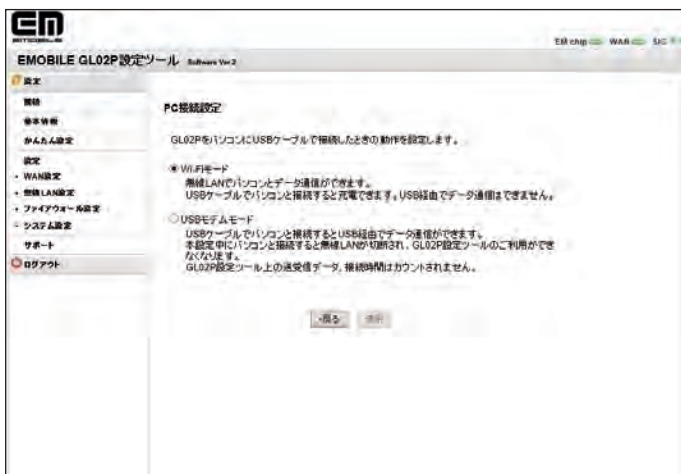
### PC接続設定

#### 設定>システム設定>PC接続設定

本製品をパソコンに接続したときの動作を設定します。

#### 注意

- ・「USBモデムモード」に設定すると、本製品とパソコンをUSB接続した場合にUSB経由でインターネット接続されます。
- ・「USBモデムモード」でパソコンとUSB接続する場合は無線LAN端末と接続ができなくなります。また、GL02P設定ツールを起動して設定を変更することもできなくなります。
- ・「USBモデムモード」に設定中でも、パソコンにUSBケーブルで接続していない場合は、Wi-Fi接続ができます。
- ・設定完了後に本製品は自動で再起動します。



#### 1 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
PC接続設定	パソコンに接続したときの動作を選択します。	Wi-Fiモード、USBモデムモード	Wi-Fiモード

#### 2 設定が完了したら「適用」を選択します。

## 4. 各種機能を設定する

### サポート情報を確認する(サポート)

本製品や各種サービスに関する情報、問題の対処方法などは、こちらのサポートページよりイー・モバイルの公式サイトへアクセスしてください。



## 4. 各種機能を設定する

### モバイル機器用設定ツールについて

iPod touchなどのモバイル機器から設定ツールにアクセスすると、モバイル機器用の設定画面が表示されます。

モバイル機器用設定ツールでは、かんたん設定(72ページ)と同様の設定が可能です。

#### 注意

- すべてのモバイル機器での動作を保証するものではありません。
- 本製品の詳細な動作設定については、67ページ「GL02P設定ツールについて」を参照してください。
- パソコン用の設定ツールと比較して、一部機能が省略されています。

### モバイル機器用設定ツールを起動する(iPod touchの例)

- 1 iPod touchを起動し、本製品と無線LANで接続します。
- 2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.1.1」と入力します。

#### 注意


- パソコン用の設定ツール画面が表示された場合は、画面右下の「モバイル用画面へ」をタッチしてください。
- 画面左上の「EM」をタッチすると、トップページに移動します。

- 3 ログイン画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をタッチします。
  - ユーザー名は「admin」で固定されています。
  - お買い上げ時の設定ツールのログインパスワードは、adminです。
  - 必要に応じて「言語」欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。



## 4. 各種機能を設定する

### 4 設定ツールのトップページが表示されます。

- 画面右上の「」をタッチすると、設定ツールからログアウトします。



#### かんたん設定

かんたん設定画面を表示します。主な設定項目は、パソコン用設定ツールと同様です。

#### PC接続設定

Wi-FiモードとUSBモデムモードを選択します。

#### PINコード入力

EM chipにPINコードが設定されている場合に、PINコードの入力画面を表示します。

#### PINコード初期化

EM chipがPINロック状態のときに、PINロック解除コード (PUKコード) を入力します。

#### 基本情報

現在の本製品の通信設定を表示します。

#### イー・モバイル公式サイト

#### お客さまサポート

イー・モバイルのホームページを表示します。

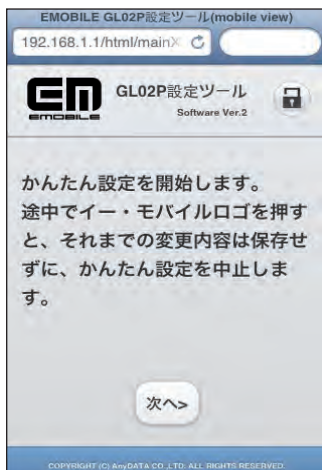
## 4. 各種機能を設定する

モバイル機器用かんたん設定を使用する(iPod touchの例)

1 「かんたん設定」をタッチします。



2 「次へ」をタッチします。



## 4. 各種機能を設定する

- 3 接続先(APN)を設定します。プロファイルリストからプロファイルを選択して、「次へ」をタッチします。

The screenshot shows the 'EMOBILE GL02P設定ツール (mobile view)' interface. At the top, there is a browser address bar with '192.168.1.1/html/main'. Below the address bar is the EMOBILE logo and the text 'GL02P設定ツール Software Ver.2'. The main section is titled 'APN設定' and contains an 'APN' label above a text input field containing 'em.std(D)'. Below the input field are two buttons: '戻る' (Back) and '次へ>' (Next). At the bottom, there is a small copyright notice: 'COPYRIGHT (C) AnyDATA CO.,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.'

- 4 無線LAN機能を設定します。設定が完了したら、「次へ」をタッチします。

The screenshot shows the 'EMOBILE GL02P設定ツール (mobile view)' interface. At the top, there is a browser address bar with '192.168.1.1/html/main'. Below the address bar is the EMOBILE logo and the text 'GL02P設定ツール Software Ver.2'. The main section is titled '無線LAN基本設定' and contains an 'SSID' label above a text input field containing 'GL02P-XXXXXXXXXXXX'. Below the input field is an 'SSIDステルス' (SSID Stealth) label above a dropdown menu currently set to '無効'. Below the dropdown are two buttons: '戻る' (Back) and '次へ>' (Next). At the bottom, there is a small copyright notice: 'COPYRIGHT (C) AnyDATA CO.,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.'

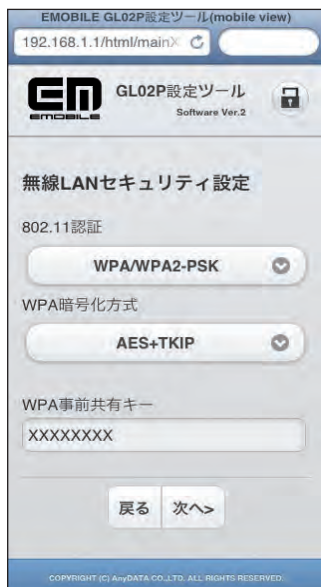
設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID	ネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「-」、「_」、「(半角スペース)」	※1
SSIDステルス※2	SSIDが表示されないように設定します。	有効、無効	無効

※1:お買い上げ時のSSIDについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」欄を参照してください。

※2:「有効」に設定すると、WPS機能が利用できなくなりますのでご注意ください。

## 4. 各種機能を設定する

### 5 無線LANのセキュリティ設定を行います。設定が完了したら「次へ」をタッチします。



4

設定項目	説明	設定範囲	初期値
802.11認証	認証方式を選択します。	Open System、Shared Key、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
暗号化方式	暗号化モードを選択します。	暗号化なし、WEP	WEP
WEPキー	「IEEE802.11認証」で「OpenSystem」または「Shared Key」を選択し、「暗号化方式」で「WEP」を選択しているときに表示されます。WEPキーを設定します。	64bitキー：5文字の半角英数字と半角記号(“:”; < > & \ ¥ は除く) または10桁の16進数(0~9、A~F) 128bitキー：13文字の半角英数字と半角記号(“:”; < > & \ ¥ は除く) または26桁の16進数(0~9、A~F)	WEPキー※
WPA暗号化方式	「IEEE802.11認証」で「WPA-PSK」「WPA/WPA2-PSK」または「WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。暗号化モードを選択します。	AES、TKIP、AES+TKIP	AES+TKIP
WPA事前共有キー	「IEEE802.11認証」で「WPA-PSK」「WPA/WPA2-PSK」または「WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。使用するWPA事前共有キーを指定します。	8文字以上、最大63文字までの半角英数字と半角記号(“:”; < > & \ ¥ は除く) または64桁の16進数(0~9、A~F)	WPAキー※

※ お買い上げ時のWEPキーとWPAキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「WEP Key」「WPA Key」欄を参照してください。

## 4. 各種機能を設定する

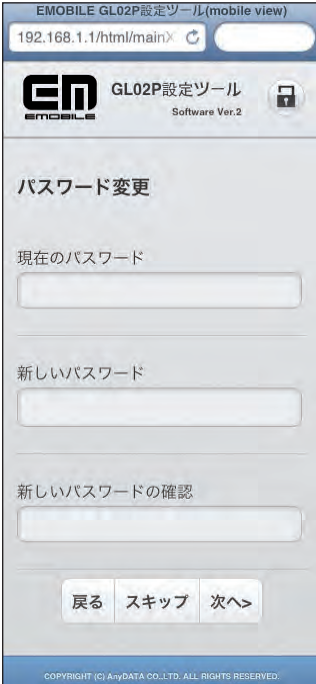
### 6 設定ツールにログインするときのパスワードを設定します。設定が完了したら、「次へ」をタッチします。

現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、確認のために新しいパスワードを再度入力してください。

パスワードは最大15文字までの半角英数字と半角記号,( " ; < > & \ ¥ は除く)で設定します。

設定を変更しない場合は、「スキップ」をタッチします。

パスワードを変更した場合は、「次へ」をタッチします。



The screenshot shows a mobile web interface for the 'EMOBILE GL02P設定ツール (mobile view)'. At the top, there is a browser address bar with '192.168.1.1/html/main' and a refresh icon. Below the address bar is the logo for 'EMOBILE' and the text 'GL02P設定ツール Software Ver.2'. The main content area is titled 'パスワード変更' (Change Password). It contains three input fields: '現在のパスワード' (Current Password), '新しいパスワード' (New Password), and '新しいパスワードの確認' (Confirm New Password). At the bottom of the form, there are three buttons: '戻る' (Back), 'スキップ' (Skip), and '次へ>' (Next). The footer of the page contains the text 'COPYRIGHT (C) ANYDATA CO.,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.'



## 4. 各種機能を設定する

- 7 設定内容を保存するには、「保存」をタッチします。  
「戻る」をタッチして、設定をやり直すこともできます。

The screenshot shows a mobile web interface for the EMOBILE GL02P setting tool. At the top, it displays the URL '192.168.1.1/html/main' and the title 'EMOBILE GL02P設定ツール (mobile view)'. Below the header, there is a message: 「保存」をクリックすると、下記の設定を保存します。 (When you click 'Save', the following settings will be saved). The settings listed are: APN: em.std, SSID: GL02P-XXXXXXXXXXXX, SSIDステルス: 無効 (SSID Stealth: Inactive), 802.11認証: WPA/WPA2-PSK (802.11 Authentication: WPA/WPA2-PSK), WPA暗号化方式: AES+TKIP (WPA Encryption Method: AES+TKIP), and WPA事前共有キー: XXXXXXXX (WPA Pre-shared Key: XXXXXXXX). At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '保存' (Save). The footer contains the copyright notice: COPYRIGHT (C) AnyDATA CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

### 注意

- 設定を変更後に引き続きモバイル機器用設定ツールを使用する場合は、設定ツールに再度アクセスする必要があります。

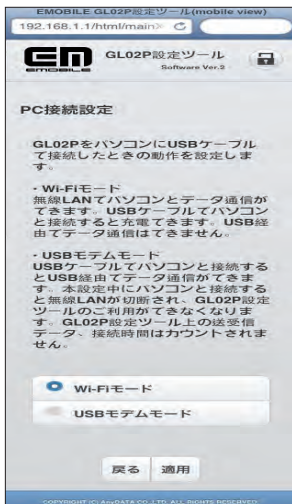
## 4. 各種機能を設定する

### モバイル機器用PC接続設定を設定する (iPod touch の例)

1 「PC接続設定」をタッチします。



2 項目を選択します。



3 「適用」をタッチします。

#### 注意

- ・「USBモデムモード」に設定すると、本製品とパソコンをUSB接続した場合にUSB経由でインターネット接続されます。
- ・「USBモデムモード」でパソコンとUSB接続する場合は無線LAN端末と接続ができなくなります。また、GL02P設定ツールを起動して設定を変更することもできなくなります。
- ・「USBモデムモード」に設定中でも、パソコンにUSBケーブルで接続していない場合は、Wi-Fi接続ができます。
- ・設定完了後に本製品は自動で再起動します。

## 4. 各種機能を設定する

### モバイル機器用PINコード入力をする (iPod touch の例)

1 「PINコード初期化」をタッチします。



2 PINコードを入力します。  
Remember PIN Code: PINコードをiPod touchに記憶させる場合にチェックします。



3 「適用」をタッチします

## 4. 各種機能を設定する

### モバイル機器用PINコード初期化をする (iPod touchの例)

PINコード入力に3回連続で失敗するとPINロック状態になり、解除するにはPINロック解除コード (PUKコード) を入力する必要があります。

#### 1 「PINコード初期化」をタッチします。



- #### 2 PUKコード: PUKコードを入力します。
- 新しいPINコード: 新しいPINコードを入力します。  
新しいPINコードの確認: もう一度新しいPINコードを入力します。

A screenshot of the 'PINコード初期化' (PIN Code Initialization) screen in the EMOBILE GL02P setting tool. The page title is 'PINコード初期化'. It contains three input fields: 'PUKコード', '新しいPINコード', and '新しいPINコードの確認'. At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '適用' (Apply). The copyright notice 'COPYRIGHT (C) Au@DATA CO.,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.' is visible at the very bottom.

#### 3 「適用」をタッチします。





## 4. 各種機能を設定する

### 基本情報 (iPod touch の例)

ネットワークや無線LANの情報を確認することができます。



4

設定項目	説明
ネットワーク名	現在接続中のネットワーク名を表示します。
受信レベル	 ⇔  : 受信レベル「強」⇔「弱」
EM chip状態	EM chip(エムチップ)の認証状態を表示します。
電話番号	EM chip(エムチップ)に登録されている電話番号を表示します。
接続状態	インターネットへの接続状況を表示します。
送信データ	累計の送信データ量を表示します。
受信データ	累計の受信データ量を表示します。
接続時間	接続時間を表示します。
無線LAN接続数	無線LANに接続している端末の台数を表示します。
電池残量	電池残量を表示します。  ⇒  : 電池残量「多い」⇒「少ない」

#### 注意

- 表示される受信データ/送信データ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なることがあります。

## 5. 故障と思われる前に

困ったときは ..... 126

## 5. 故障と思われる前に

まず、以下の項目をお調べください。それでも問題が解決できない場合は、お問い合わせ先(139ページ)にご相談ください。

### 困ったときは

#### 1 無線LAN端末を接続できない。

- ① 本製品と無線LAN端末の無線LAN機能がオンになっていることを確認してください。
- ② WPAまたはWPA2の暗号化方式を設定している場合は、正しいWPA事前共有キーを設定しているか、確認してください。WPA事前共有キーを忘れた場合は、本製品をリセットするか、89ページの「無線LANセキュリティ設定」を参照してWAP事前共有キーを設定しなおし、もう一度接続の操作を行ってください。
- ③ WEPの暗号化方式を設定している場合は、正しいWEPキーを設定しているか、確認してください。WEPキーを忘れた場合は、89ページの「無線LANセキュリティ設定」を参照してWEPキーを設定しなおし、もう一度接続の操作を行ってください。
- ④ WPS機能で接続できない場合は、無線LAN端末の取扱説明書などを参照してください。それでも接続できない場合は、無線LAN機能を手動で設定する必要があります。38ページの「無線LANで接続する」を参照してください。
- ⑤ WPS用のPINコードが指定された無線LAN端末を接続する場合は、正しいPINコードを設定しているか、確認してください。詳しくは、91ページの「WPS設定」を参照してください。

#### 2 インターネットへの接続に失敗した。

- ① サービスエリア内であることをご確認ください。
- ② 電波状態が良くないところであれば、電波状態が良いところへ移動して、もう一度接続してください。
- ③ 時間帯によって接続先が混雑している可能性もありますので、しばらくしてからもう一度接続してください。
- ④ GL02Pの設定ツールを起動し、WANの設定、およびネットワーク関連の設定が正しく設定されていることを確認してください。詳細は、79ページの「WAN設定」をご参照ください。

#### 3 通信がすぐに切れる。

- ① 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。
- ② 本製品の電池残量を確認してください。電池残量が少なくなっている場合は、ACアダプタを接続するか、USBケーブルでパソコンに接続して充電してください。充電方法については、35ページを参照してください。
- ③ 本製品と無線LAN端末を無線LANで接続している場合には、本製品の電源をいったん切ってからもう一度電源を入れてください。
- ④ 上記の操作を行ってもなお接続できない場合、本製品を取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。

#### 4 通信速度が遅く感じる。

- ① 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。
- ② 回線の状態が良くないことがあります。時間を置いて再度試してください。
- ③ 周辺で使用されている無線LAN端末などの電波と干渉していることがあります。本製品の無線LANチャンネルを変更するか(87ページ「無線LAN設定」)、microUSBケーブルで接続して再度試してください。

## 5. 故障と思われる前に

### 5 USBケーブルで接続したパソコンが本製品を認識しない。

- ① GL02P設定ツールの「PC接続設定」が「USBモデムモード」に設定されているか確認してください。「PC接続設定」が「Wi-Fiモード」に設定されている場合、本製品とパソコンをmicroUSBケーブルで接続しても充電されるだけです。「PC接続設定」(112ページ)を参照してください。
- ② 本製品がUSBケーブルで正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。
- ③ 本製品をパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。

### 6 本製品のドライバをインストールする。

- ① 本製品のインストーラファイルは当社ホームページ(<http://emobile.jp/products/gl02p/>)でダウンロードできます。
- ② ダウンロードした圧縮ファイルを解凍してインストーラファイルを実行してインストールします。

### 7 PINコードを忘れた。

### 8 PINロック解除コードを知らない。

### 9 EM chipが完全ロック状態である。

お問い合わせ先(139ページ)にご連絡ください。

### 10 EM chipが認識されない。

- ① EM chipが正しく取り付けられているかどうかをご確認ください。詳細は31ページの「EM chipを取り付ける」を参照してください。
- ② EM chipが変形していないことを確認してください。
- ③ EM chipの金属端子部分にキズや腐食がないことを確認してください。
- ④ EM chip (特に金属端子部分) が汚れると認識できない場合もありますので、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ⑤ 1から4までをすべて確認・お試しいただいても改善しない場合は、お問い合わせ先(139ページ)にご連絡ください。

### 11 本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻したい。

※EM chipの登録内容は削除されません。

- 本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻す場合  
3ページの「本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻すには(リセット)」を参照してください。  
本操作を行うと、本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。



## 5. 故障と思われる前に

### 12 管理者権限 (Administrator) でログインしているのか判らない。

#### ■ Windows 8の場合

- ① デスクトップ画面で、画面の右端からスワイプ(マウスの場合は画面の右上隅/右下隅に移動)→チャームで「設定」→「コントロールパネル」を選択します。
- ② 「ユーザーアカウントとファミリーセーフティ」カテゴリの「アカウントの種類の変更」を選択します。
- ③ 現在ログインしているアカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしています。

#### ■ Windows 7およびWindows Vistaの場合

- ① 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックして、「コントロールパネル」画面を表示します。
- ② 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」をクリックして、次の画面で「ユーザーアカウント」をクリックします。
- ③ 画面の右側に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているので、本製品をセットアップすることができます。

#### ■ Windows XPの場合(手順はクラシック表示を例としています。)

- ① 「スタート」をクリックして、「スタート」メニューを表示します。
- ② 「スタート」メニューの一番上に表示されているのが現在ログインしているユーザー名です。「スタート」メニューの表示が、クラシック「スタート」メニューになっている場合は表示されません。「スタート」メニューを右クリックし、プロパティを表示して「スタート」メニューをチェックしてください。
- ③ 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックして、「コントロールパネル」画面を表示します。
- ④ 「ユーザーアカウント」をクリックします。
- ⑤ 表示された画面の「ユーザー名」から、②で調べたユーザー名○○○を確認します。ユーザー名の下に「コンピュータの管理者」と表示されていれば、管理者権限でログインしているので、本製品をセットアップすることができます。

#### ■ Macの場合

- ① アップルメニューから「システム環境設定…」を選択します。
- ② 「システム環境設定…」の画面で、「システム」の「ユーザとグループ」をクリックします。
- ③ 画面の左側に現在ログインしている「現在のユーザ」のユーザ名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「管理者」であれば管理者権限でログインしているので、本製品をセットアップすることができます。

## 5. 故障と思われる前に

### 13 「取扱説明書(本書)」を参照する。

取扱説明書のPDFファイルは、本製品内に保存されています。Windows /パソコン、Mac、iPadで取扱説明書を参照する場合は本製品と無線LANで接続し、下記手順を行ってください。

- ① Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.1.1」と入力してGL02Pの設定ツールを起動します。
- ② GL02P設定ツールのトップページが表示されますので、画面左下段の「PDFファイルをダウンロード」をクリックします。



- ※ PDFファイルの参照には、アドビシステムズ社が配布しているAdobeReaderが必要です。
- ※ 取扱説明書のPDFファイルは、ログインなしで参照できます。
- ※ 取扱説明書のPDFファイルは、イー・モバイルのホームページからもご覧いただけます。

## 6. 付録

主な仕様.....	131
GL02P設定ツール設定リスト.....	132
用語集.....	136
保証とアフターサービス.....	138
お問い合わせ先.....	139

## 6. 付録

### 主な仕様

#### GL02P

製品名	GL02P
サイズ(W×H×D)	約56mm X 97mm X 18.0 mm
重さ	約123g(電池パックを含む)
インターフェース	USB2.0HighSpeed(microUSB端子)
消費電力	通信時最大: 約3.25W 待機時: 約0.296W ※ 使用状況により消費電力は変化します。
電源	DC 5V、1A
充電時間(メーカー調べ)	ACアダプタ使用時: 約4時間 USBケーブル使用時: 約8時間
連続待機時間(メーカー調べ)	約350時間
連続通信時間(メーカー調べ)	LTE: 約9時間 WCDMA: 約9時間
環境条件	動作温度範囲: -10°C~+55°C 保管温度範囲: -20°C~+80°C 湿度: 5%~95%
対応周波数	LTE: 上り: 1710 ~ 1785MHz 下り: 1805 ~ 1880MHz 3G: 上り: 1749.9 ~ 1784.9MHz, 1920 ~ 1980MHz 下り: 1844.9 ~ 1879.9MHz, 2110 ~ 2170MHz WLAN: 2400 ~ 2483.5MHz(全13ch)
通信方式	WAN: LTE/WCDMA/HSDPA/HSUPA/HSPA+/DC-HSDPA WLAN: IEEE802.11b/g/n

#### 電池パック

電圧	3.7V
電池パック	リチウムイオン
容量	3000mAh

#### ACアダプタ

電源	AC100V~240V
入力電流	最大0.2A
出力電圧/電流	DC 5V、1A
サイズ(W×H×D)	約36.9mm×60mm×46.1mm

## 6. 付録

### GL02P設定ツール設定リスト

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値
接続	-	-
基本情報	-	-
かんたん設定	-	-
設定	-	-
WAN設定	-	-
PINコード管理	-	-
PINコード操作	有効にする、無効にする、認証する、変更する	(なし)
PINコード	4～8桁の半角数字	(なし)※1
新しいPINコード	4～8桁の半角数字	(なし)
PINコードの確認	4～8桁の半角数字	(なし)
PUKコード	8桁の半角数字	(なし)
PIN1コード入力可能回数	(なし)	3
周波数選択設定	-	-
周波数	自動、LTEのみ、WCDMAのみ	自動
ネットワークの検索	-	-
モード	自動、手動	自動
ネットワーク	(リスト項目)	(なし)
接続設定	-	-
プロファイルリスト	em.std、em.gbl、 その他 あらかじめ設定されている2つの プロファイル(em.std、em.gbl)を 含め、最大16件のファイル	em.std
MTU(Bytes)	1500	1500※2
プロファイル設定	-	-
プロファイルリスト	em.std、em.gbl、 その他 あらかじめ設定されている2つの プロファイル(em.std、em.gbl)を 含め、最大16件のファイル	em.std
プロファイル名	最大63字の半角英数字及び半角 記号(“:”; < > & \ ¥ は除く)	em.std
接続番号	-	*99#※2
ユーザー名	最大63字の半角英数字及び半角 記号(“:”; < > & \ ¥ は除く)	em
パスワード	最大63字の半角英数字及び半角 記号(“:”; < > & \ ¥ は除く)	em
認証方式	PAP、CHAP	PAP

※1:お買い上げ時のEM chipのPINコードは、「9999」に設定されています。

※2:変更できません。

## 6. 付録

メニュー項目/設定項目		設定範囲	初期値
APN		ダイナミック、スタティック	スタティック
		最大63字の半角英数字及び半角記号(“:”; < > & \ ¥ は除く)	em.std
IP		ダイナミック、スタティック	ダイナミック
		0~255の4組の番号	(なし)
無線LAN設定		-	-
無線LAN基本設定		-	-
	SSID	最大32文字までの半角英数字、「_」、「-」、「_」、「_」(半角スペース)	※3
	国名	(リスト 項目)	日本
	チャンネル	Auto、1、2、…、13	Auto
	IEEE802.11モード	b、g、b/g、b/g/n	b/g/n
	SSIDステルス	有効、無効	無効
	プライバシーセパレータ	有効、無効	有効
	無線LAN自動オフ時間(分)	無効、5、10、20、30、60	10
無線LANセキュリティ設定		-	-
	IEEE802.11認証	Open System、Shared Key、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
	暗号化方式	暗号化なし、WEP	WEP
	WEPキー1~4	64bitキー：5文字の半角英数字と半角記号(“:”; < > & \ ¥ は除く)、または10桁の16進数(0~9、A~F) 128bitキー：13文字の半角英数字と半角記号(“:”; < > & \ ¥ は除く)、または26桁の16進数(0~9、A~F)	WEPキー (WEPキー 1 のみ) ※3
	現在のWEPキー	1~4	1
	WPA暗号化方式	AES、TKIP、AES+TKIP	AES+TKIP
	WPA事前共有キー	8字以上最大63文字までの半角数字と半角記号(“:”; < > & \ ¥ は除く) または64桁16進数(0~9、A~F)	WPAキー※3
	WPS設定	-	-
	WPS PIN	8桁の半角数字	(なし)

※3:お買い上げ時のSSID、WEPキー、WPAキーについては、同梱の無線LAN初期設定シールの「SSID」「WEP Key」「WPA Key」欄を参照してください。

## 6. 付録

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値
MACアドレスフィルタリング設定	-	-
MACアドレスフィルタリングモード	無効、許可、拒否	無効
MACアドレス	00～FFの6組の番号	(なし)
ファイアウォール設定	-	-
ファイアウォール有効/無効	-	-
ファイアウォールを有効にする	(オン、オフ)	(オン)
IPアドレスフィルタリング機能を有効にする	(オン、オフ)	(オン)
DHCP設定	-	-
IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.1.1
サブネットマスク	0～255の4組の番号	255.255.255.0
DHCPサーバ	有効、無効	有効
開始IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.1.100
終了IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.1.200
DHCPリースタイム(秒)	60～21600	21600
DNS設定	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
プライマリDNS	0～255の4組の番号	(なし)
セカンダリDNS	0～255の4組の番号	(なし)
IPアドレスフィルタリング設定	-	-
プロトコル	Both、TCP、UDP	※4
ステータス	有効、無効	※4
WAN側IPアドレス	0～255の4組の番号とワイルドカードとして「*」	※4
WANポート番号	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結	※4
種別	拒否	拒否※2
方向	IN	IN※2

※2:変更できません。

※4:お買い上げ時、本製品には以下の2つのフィルタ条件が設定されています。

WAN側IPアドレス	WANポート番号	プロトコル	ステータス
***	135～139	Both	有効
***	445	Both	有効

## 6. 付録

メニュー項目/設定項目		設定範囲	初期値
ポートマッピング設定		-	-
	プロトコル	Both、TCP、UDP	Both
	ステータス	有効、無効	無効
	サービス名	最大40字の半角英数字と半角記号(“:”; < > & \ ¥ は除く)	(なし)
	WANポート番号	1~65535	(なし)
	LAN側IPアドレス	0~255の4組の番号	(なし)
	LANポート番号	1~65535	(なし)
	サービス選択	(リスト項目)	(任意設定)
DMZ設定		-	-
	DMZステータス	有効、無効	無効
	DMZIPアドレス	0~255の4組の番号	192.168.1.100
システム設定		-	-
ログインパスワード変更		-	-
	現在のパスワード	最大15字までの半角英数字及び半角記号(“:”; < > & \ ¥ は除く)	(なし)
	新しいパスワード	最大15字までの半角英数字及び半角記号(“:”; < > & \ ¥ は除く)	(なし)
	新しいパスワードの確認	最大15字までの半角英数字及び半角記号(“:”; < > & \ ¥ は除く)	(なし)
バックアップ&リストア		-	-
	設定情報のバックアップ	ブラウザ標準ファイルパス	-
	設定情報のリストア	ブラウザ標準ファイルパス	-
工場出荷設定		-	-
再起動/電源オフ		選択(再起動/電源オフ)	-
ソフトウェアアップデート		ブラウザ標準ファイルパス	-
バージョン情報		-	-
PC接続設定		Wi-Fiモード、USBモデムモード	Wi-Fiモード
サポート		-	-



## 6. 付録

### 用語集

#### DC-HSDPA(Dual Cell High Speed Downlink Packet Access)

携帯電話で使用されるW-CDMAを高速化した、データ受信用の拡張規格です。

#### DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)

IPネットワークに接続する端末に対してIPアドレスを自動的に割り当て、接続に必要な情報を提供する機能です。接続のための設定が簡単になる反面、接続のたびにIPアドレスが変わるため、IPアドレスで端末を特定することができなくなります。

#### DMZ(DeMilitarized Zone)

ファイアウォールによって内部ネットワークから隔離された領域で、非武装地帯を意味します。DMZホストに設定した端末で、外部に対してすべてのポートがオープンされるため、特別な設定をしなくてもサーバアプリケーションやオンラインゲームを利用することができます。

#### EM chip

本製品に取り付けて使います。EM chip内には契約しているお客さまの電話番号などの情報が記憶されています。

#### HSDPA(High Speed Downlink Packet Access)

携帯電話で使用されるW-CDMAを高速化した、データ受信用の拡張規格です。

#### HSPA+(High Speed Packet Access +)

携帯電話で使用されるW-CDMAを高速化した、データ送受信用の拡張規格です。

#### HSUPA(High Speed Uplink Packet Access)

携帯電話で使用されるW-CDMAを高速化した、データ送信用の拡張規格です。

#### LTE(Long Term Evolution)

携帯電話で使用されるHSDPAを高速化した、データ送受信用の拡張規格です。

#### MACアドレス(Media Access Controlアドレス)

すべてのネットワーク機器に対して固有に割り当てられた6/バイト長のID番号のことです。一般的にMACアドレスは、16進数で「XX:XX:XX:XX:XX:XX」のように表現されます。

#### PIN(Personal Identification Number)

本製品でEM chipを使うために必要な暗証番号のことです。個人識別番号を意味します。本製品が紛失・盗難などにあった場合でも、第三者が使えないようにできます。

#### PUK(PIN Unblocking Key)

PINロック解除キーのことです。

#### SSID(Service Set Identifier)

無線LANアクセスポイントを識別するための名前のことです。通信可能な範囲に無線LANアクセスポイントが複数ある場合、接続するアクセスポイントを指定するときに利用します。

#### W-CDMA(Wideband-Code Division Multiple Access)

「広帯域符号分割多元接続」と訳されます。広帯域通信を行うための第三世代無線通信方式です。

## 6. 付録

### WEP(Wired Equivalent Privacy)

無線通信で使われる初期の暗号化規格です。5文字または13文字の共有キーを使用する暗号化方式が採用されています。

### WPA(Wi-Fi Protected Access)

WEPを改良した暗号化規格で、あらかじめ設定した事前共有キーで認証後は、自動的に生成された暗号化キーが使用されます。また、長い暗号化キーをサポートするAES(Advanced Encryption Standard)と暗号化キーを動的に変更するTKIP(Temporal Key Integrity Protocol)という2つの暗号化方式を利用して、より安全な通信を行うことができます。

### WPS(Wi-Fi Protected Setup)

無線LANの接続やセキュリティ設定を簡単にできるようにする機能です。プッシュボタン方式やPINコード方式など、複数の接続方式が利用できます。

### WPS PIN

WPSに対応した無線LAN端末が発行する数桁の数字です。WPSのPINコード方式で設定するとき、この数字を本製品に入力することで、安全に無線LAN設定をすることができます。

### ファイアウォール

インターネットなどの外部ネットワークから内部ネットワーク(LAN)に対するアクセスを監視し、不正な侵入を防止するためのシステムのことです。

### ポート番号

インターネット上の通信で、データを受け取るアプリケーションやサービスを指定するための番号のことです。0～65535の番号を指定でき、一般的な用途が決められているウェルノウンポート番号(0～1023)、特定のアプリケーションなどが使用するレジスタードポート番号(1024～49151)、自由に利用できるダイナミック/プライベートポート番号(49152～65535)の3種類に区分されます。

### ローミング

携帯電話事業者間の合意により、他事業者エリア内でも携帯電話を利用できるサービスです。

## 6. 付録

### 保証とアフターサービス

#### 【保証について】

- お買い上げいただくと、保証書が付いています。
- 記載内容および「お買い上げ日・販売店」の記載事項をよくお確かめの上、大切に保管してください。
- お買い上げ日と販売店の記載がない場合、あるいは納品書または領収書等にてお買い上げ日および販売店が特定できる書類がない場合、改ざんのある場合、保証を受けられませんので、ご注意ください。

#### 【修理について】

- 修理を依頼される場合、本書をお読みになり、もう一度ご使用方法や設定状態をご確認ください。それでも改善復旧しない場合は、お問い合わせ先(139ページ)までご相談ください。
- 保証期間中の修理  
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間経過後の修理  
修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理いたします。

#### 【ご注意】

- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために発生した損害などについて当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登録されたデータやお客さまが独自に設定、インストールされたソフトが消去される(出荷時の初期状態となる)場合がありますので、ご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理を受付できませんのでご注意ください。

#### 【補修用部品】

本製品および関連製品の補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後6年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

## 6. 付録

### お問い合わせ先

イー・モバイル カスタマーセンター

イー・モバイル携帯電話から:157(無料)

一般電話から:0120-736-157(無料)

※ 他社の携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

海外から:+81-3-6831-3333(有料)

受付時間 9:00~21:00(日本時間/年中無休)

※ 間違い電話が多くなっております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

※ 一部の光電話、IP電話等からはご利用いただけない場合があります。

ホームページ <http://emobile.jp/>



発売元：イー・アクセス株式会社  
(製造元：AnyDATA KOREA INC.)  
発行年月：2013年2月 第4版



モバイル・リサイクル・ネットワーク  
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。